



陸前高田で学ぶ 教育旅行ガイドブック

(令和8年6月改訂)

発行：一般社団法人陸前高田市観光物産協会

目次

1. 一般社団法人陸前高田市観光物産協会	2
1-1. 高田松原津波復興祈念公園パークガイド	2
1-2. パークガイドの様子	4
1-3. パークガイドタリフ	5
2. 東日本大震災津波伝承館	6
2-1. 見学のモデルケース	6
2-2. 館内イメージ	12
2-3. 津波伝承館タリフ	13
3. ワタミオーガニックランド	14
3-1. お食事に関するご案内	14
3-2. 各種体験案内	17
3-3. 手ぶらでBBQ	18
3-4. 震災学習・SDGs学習タリフ	19
4. 岩手県立野外活動センター	20
4-1. 利用案内	20
4-2. 料金表	22
4-3. タリフ一覧	23
5. (認定)特定非営利活動法人SET	28
5-1. 民泊パンフレット	28
5-2. 民泊タリフ	33
6. 陸前高田市立博物館	34
6-1. 総合パンフレット	34
6-2. 博物館タリフ	36
7. 一般社団法人トナリノ	37
7-1. 3.11仮設住宅体験館	37
7-2. 防災減災フィールド	41
7-3. 防災減災フィールドの様子	45
7-4. タリフ一覧	46
8. 陸前高田市へのアクセス・市内周辺MAP	47
9. 周辺施設連絡先・避難について	48
10. 団体連絡先一覧	49

高田松原津波復興祈念公園パークガイド

岩手県 陸前高田市

高田松原津波復興祈念公園パークガイドは、

東日本大震災の教訓と陸前高田市の魅力を伝えるために2021年夏に新しく始まった

高田松原津波復興祈念公園内をご案内するガイドサービスです。



復興への
希望の
象徴

復興への
希望の
象徴

津波の威力を
伝える
遺構

防災教育の重要性を
伝える
遺構

津波の高さを
伝える
遺構



奇跡の一本松



陸前高田
ユースホテル



旧道の駅高田松原
タピック45



気仙中学校



下宿定住促進住宅

公園内には **5つの震災遺構** が残されており、津波災害による貴重な遺構を間近で見学することができます。
パークガイドとともに園内を歩き、震災のこと・復興のいまをお伝えします。

高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設 とは

高田松原津波復興祈念公園は、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂、「震災の記憶」と「教訓の後世への伝承」とともに、国内外に向けて復興に対する強い意志を発信するため、国・岩手県・陸前高田市が連携して整備した、復興の象徴となる公園です。

パークガイドでは、専門のガイドが公園の中をご案内します。
コースは4種類の中からお選びいただけます。



● 公園内には「東日本大震災津波伝承館」・「道の駅高田松原」が敷地内にあります。見学・お買い物等にお役立てください。

※ 東日本大震災津波伝承館をご予約の際は、お手数ですが直接お問い合わせください。

※ 2クラス以上等の場合は、パークガイドと併せて「東日本大震災津波伝承館」のご調整を承ることも可能です。ご相談ください。

旧道の駅高田松原 タピック45

— 津波の威力を伝える遺構 —

震災前の道の駅だった建物です。
1階の内部見学が可能で、中に入ると津波の
力によって破壊された大きな壁が間近で
見学することができます。



気仙中学校

— 防災教育の重要性を伝える遺構 —

陸前高田市内で最も早く津波が到達した
学校です。そんな状況下のなか迅速な
避難行動のおかげで、全員が無事に助かる
ことができました。校舎は3階まで見学する
ことができます。



高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設

ご案内ルート

◀ 避難場所
(気仙小学校)

気仙中学校

奇跡の一本松

ユースホステル

道の駅

津波伝承館

タピック45

運動公園

海を望む場

高田松原

広田湾

高田松原海水浴場

下宿定住促進住宅

A コース

防潮堤

奇跡の一本松

旧道の駅タピック45

約 60-90 分



B コース

気仙中学校（遠目からの奇跡の一本松）

約 60 分

C コース

防潮堤

奇跡の一本松

気仙中学校

約 90-120 分



特例コース

防潮堤

旧道の駅タピック45

気仙中学校

約 90-120 分（車移動あり・30名程度まで）

- 『気仙中学校』の見学は一度に「2団体(2クラス)」まで、『旧道の駅タピック45』は「1団体(1クラス)」までです。
- 移動はすべて徒歩移動となります。（ご不安な点ございましたらご相談ください）
- 車椅子の方や配慮が必要な方がいらっしゃる場合は、事前にご連絡ください。
- Cコースは、集合・終了場所が異なりますので、バスのご移動・お迎えをお願いいたします。
- お手洗いをご利用の際は、基本的に『東日本大震災津波伝承館・側』のお手洗いをご利用ください。
- 雨天時の場合も実施となりますので、雨具のご用意をお願いいたします。（状況に応じてバス車内からのご案内となる場合もございます）
- 注意報・警報が発令された場合は、ご案内を中止し安全な場所へ避難をいたします。

お問い合わせ
お申し込み

一般社団法人 陸前高田市観光物産協会
高田松原津波復興祈念公園パークガイド受付事務局

専用直通番号：090-7528-8182
MAIL：rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp

お申込みは下記専用ホームページ申込フォームよりお願いいたします。

【高田旅ナビ】 <https://tak@navi.org/shinsai/>

パークガイドの様子



復興祈念公園が整備された経緯や
各遺構・施設の説明を行います

少しずつ再生している高田松原を
望みながら高田松原の歴史、
植樹のことを説明します



奇跡の一本松もすぐ近くでの
見学が可能です（集合写真可）

震災遺構であるタピック45および
気仙中学校は本ガイドでのみ
内部見学が可能となっています
（ヘルメットは貸出しております）



No.

■ 体験メニューの種類

震災ガイド・見学

■ 商品素材名称

高田松原津波復興祈念公園パークガイド

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

震災遺構のご見学が可能です

【概要】

高田松原津波復興祈念公園パークガイドは、東日本大震災の教訓と陸前高田市の魅力を伝えるために、2021年6月より新しく始まった高田松原津波復興祈念公園内をご案内するガイドサービスです。

本ガイドでは、陸前高田市観光物産協会からガイドの認定を受けた“個性豊かな”地元住民が公園内をご案内いたします。震災遺構である『奇跡の一本松』をはじめ、パークガイドの同伴を条件として内部の見学が許可されている『気仙中学校』や、『旧道の駅タビック45』といった公園内の震災遺構を中心に“震災・復興・これから”を、それぞれの経験を交えながらご案内させていただきます。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町土手影180		
種別	見学	料金	下記備考に記載 ※1
受入人数	最大260名様程度まで	所要時間	60～120分（見学行程による）
営業時期	通年	営業時間	9:00～18:00 ※2
集合場所	東日本大震災津波伝承館前付近	解散場所	現地
駐車場状況	大型バス専用駐車場あり	現地ガイド	パークガイド
予約申込期限	2週間前程度	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：090-7528-8182（専用番号） FAX：0192-54-5013 MAIL：rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

《記載例》

※1

教育旅行団体（ひとりあたりの料金）

●20名様以上の場合…小学生 550円／中学生～高校生 1,100円

●120名様以上の場合…中学生～高校生 825円

●20名様未満の団体／一式19,800円

●気仙中学校に入場する場合…入場料として500円（気仙中ガイドブック付き）

※2

10月～3月までは17:00まで（気仙中学校入館は16:00まで）

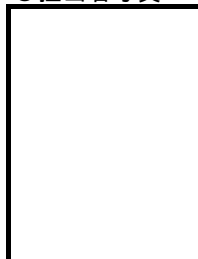
● 二次交通情報

交通機関	
利用可能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【食事】陸前高田ワタミオーガニックランド
	【見学】東日本大震災津波伝承館
	【宿泊】岩手県立野外活動センター

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

高田松原津波復興祈念公園パークガイド受付事務局
（一般社団法人陸前高田市観光物産協会）

専用番号：090-7528-8182

固定番号：0192-54-5011

FAX：0192-54-5013

MAIL：

rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp



見学のモデルケース

東日本大震災津波伝承館

(令和4年7月改訂)

目次

- 3 … 見学の基本的な考え方
- 4 … 見学時間の目安
- 5 … 各種ノートの配布(中高生用)
- 6 … 各種ノートの配布(小学生用)
- 7 … 基本的な見学の仕方
- 8 … 時間ごとの見学の仕方
- 9 … モデルケース①(～20人程度まで)
- 10 … モデルケース②(～40人程度まで)
- 11 … モデルケース③(～80人程度まで)
- 12 … モデルケース④(～160人程度まで)

見学の基本的な考え方

見学の方法	説 明
自由見学	当館を自由にご覧いただきます。
解説員による展示解説 (当館推奨)	解説員をお付けして展示の解説をいたします。 ○ 事前の予約が必要(2週間前まで) ○ 見学時間は60分以上を推奨

※ 解説員は、概ね20名程度までに1人を配置します。同じ時間に配置できる解説員は2人が限度のため、通常は40人程度が上限となります。

※ 2クラス以上の見学への対応(モデルケース)については後述します。

3

見学時間の目安

見学時間	内 訳	備 考
30分未満	自由見学	見学時間を確保できない場合など
60分	10分:ガイダンスシアター 40分:解説員による解説 10分:自由見学	基本的なコース

※ 上記見学時間は「伝承館」のみの時間です。
(公園散策や道の駅での買い物などは、別途考慮が必要です。)

※ 事前学習や移動中のバスの中で予習するため、リーフレットや震災津波
伝承ノート(中学・高校)、震災津波学習ノート(小学校用)を学
校あてに前もって送付することも可能ですので、ご相談ください。

4

各種ノートの配布（中高生用）

学ぶ。伝える。

震災津波伝承ノート

◆内容

- ①各ゾーンの見学のポイント ②「考えてみよう」
- ③見学を終えて（振り返り）

◆対象

中学生、高校生

◆作成した意図

- ①東日本大震災津波の事実と教訓を学ぶ。
- ②この震災を自分事と捉え、自分の地域で起こるかもしれない自然災害について考え、備える。



5

各種ノートの配布（小学生用）

震災津波学習ノート

◆内容

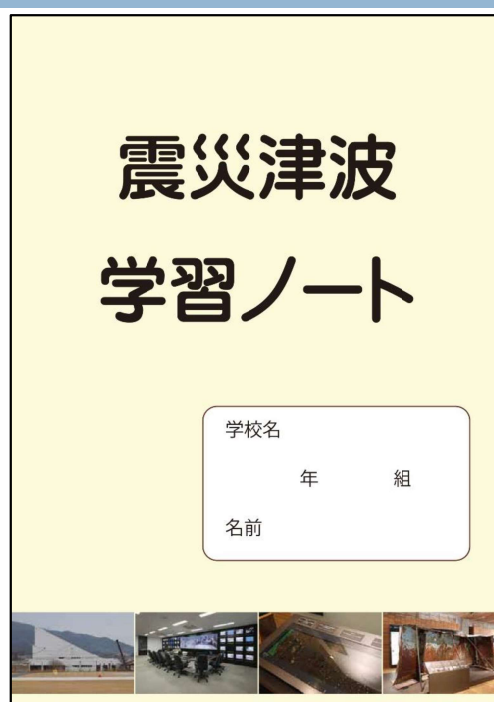
- ①問題形式の学習ノート
*展示を見て解くもの、自分の考えをまとめる問い
- ②見学を終えて（振り返り）
- ③自分の家からの避難経路を考える

◆対象

小学生

◆作成した意図

- ①伝承館の展示で利用する写真や資料を入れることで見学中や事前事後学習にて内容の理解がより深まる。
- ②問題形式の内容とした。伝承館として伝えたい内容が児童へ定着しやすい。



6

基本的な見学の仕方

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
60分	① 入館	② ガイダンス シアター視聴	③ 解説員による展示解説 ゾーン1～3								④ 自由見学	

① 入館

- 入館前に、避難経路の確認や見学時の注意事項の説明を行います。
- 入館時に、手指消毒及び検温を行います。

② ガイダンスシアター視聴

- 10分間の映像の視聴。

③ 解説員による展示解説

- ゾーン1～3の展示を解説員が説明します。途中に3.11シアターを視聴します。

④ 伝承館内の自由見学

- 解説後、生徒児童のみなさんが興味関心を持った場所や解説中には案内できなかった場所などを自由に見学します。
- 自由時間の有無や時間は調整可能です。

7

時間ごとの見学の仕方

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
60分	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1～3								自由見学	

60分時間が確保できない時には、45分、30分のプログラムもあります

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45
45分	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1～3						

自由見学が
なくなります

分	5	10	15	20	25	30
30分	入館	ガイダンスシアター視聴 解説員による展示解説 ゾーン1～3				

・自由見学がなくなります
・ガイダンスシアターのための視聴

8

見学のモデルケース①

～20人程度まで（少人数数学級想定）

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
I 組 (20人)	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1～3								自由見学	

9

見学のモデルケース②

～40人程度まで（1クラス想定）

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
I 組 I 班 (20人)	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーンI → ゾーン2 → ゾーン3 (※)								自由見学	
I 組 2 班 (20人)			解説員による展示解説 ゾーン3 → ゾーンI → ゾーン2 (※)									

※ ガイダンスシアター視聴後、2つの班に分かれてそれぞれに解説員がつきます。2つの班が重ならないように館内をご案内します。その日の予約状況によっては、1人の解説員で1クラス全員を案内する場合があります。

10

見学のモデルケース③

～80人程度まで（2クラス想定）

分	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120
1組 1班 (20人)	シアター 入館 視聴	解説員による展示解説 ゾーン1 → 2 → 3				自由 見学	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					
1組 2班 (20人)		解説員による展示解説 ゾーン3 → 1 → 2										
2組 1班 (20人)	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等						シアター 入館 視聴	解説員による展示解説 ゾーン1 → 2 → 3		自由 見学		
2組 2班 (20人)								解説員による展示解説 ゾーン3 → 1 → 2				

※ 一方のクラスが伝承館を見学中は、もう一方のクラスが別メニュー対応となり、60分で入れ替え。滞在時間はトータルで120分となります。

※ 各班に1人解説員が付きます。その日の予約状況によっては、各組1人の解説員の配置になる場合もあります。

11

見学のモデルケース④

～160人程度まで（4クラス想定）

分	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120
1組 (40人)	入館	解説員による展示解説 シアター → ゾーン1 → 2 → 3				自由見学	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					
2組 (40人)		解説員による展示解説 ゾーン3 → シアター → 1 → 2										
3組 (40人)	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等						入館	解説員による展示解説 シアター → ゾーン1 → 2 → 3		自由見学		
4組 (40人)								解説員による展示解説 ゾーン3 → シアター → 1 → 2				

※ 1クラスに解説員を1人ずつ配置し、クラス単位で見学をお願いします。

12

東日本大震災津波伝承館の見学について



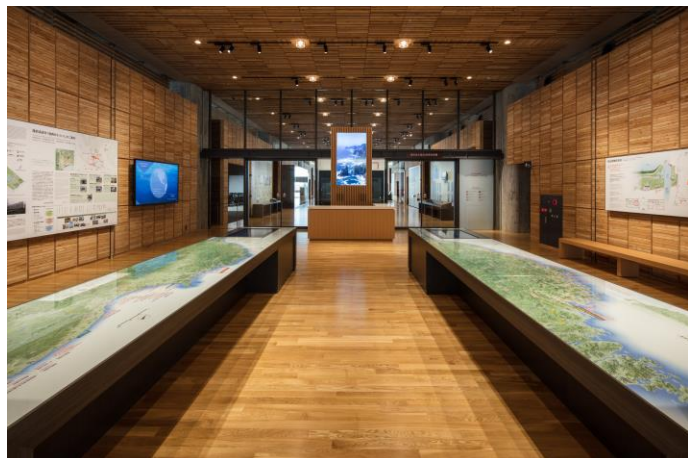
外観

中央の建物の左側が津波伝承館です。
※右側は道の駅高田松原です。



ご案内の様子

事前に団体予約をいただければ、
解説員が館内をご案内いたします。
(自由見学も可能です)



エントランス

津波伝承館入口です。
24時間利用可能なトイレがあります。



館内

津波の被害を受けた被災した車や
橋桁など、当時のものがありのまま
展示されているほか、記録として残
されている映像を視聴できる「ガイ
ダンスシアター」などがあります。

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

見学ガイド

■ 商品素材名称

東日本大震災津波伝承館

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

解説員の説明による
展示内容の深い理解促進

【概要】

復興の象徴として整備された高田松原津波復興祈念公園内に開館した震災伝承施設。震災津波について正しく学び、防災意識を高める「学びの場」として復興教育に取り組んでいます。

- ・解説員による館内展示の説明と、ガイダンスシアター等の映像視聴により、当館の展示内容をより深く理解していただくことができます。
- ・一度に入館できる人数は限られておりますが、他の体験などと合わせて、時間を調節することも可能です。
- ・解説なしで館内を自由見学することも可能です。
- ・解説の有無にかかわらず、ご希望に応じて、事前・事後学習に活用するワークノートを提供します。

【注意事項】

年末年始（12/29～1/3）や、年数回のメンテナンスなどによる臨時休館がございますので、ご利用前に必ずご確認ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影180番地（高田松原津波復興祈念公園内）		
種別	見学	料金	無料
受入人数	要相談	所要時間	30分～60分
営業時期	通年	営業時間	午前9時～午後5時（最終入館：午後4時30分）
集合場所	現地（東日本大震災津波伝承館）	解散場所	現地（東日本大震災津波伝承館）
駐車場状況	大型バス対応の駐車場有	現地ガイド	解説員による展示解説
予約申込期限	ご利用日の2週間前まで	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-47-4455		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

・解説員の有無を問わず料金は無料です。

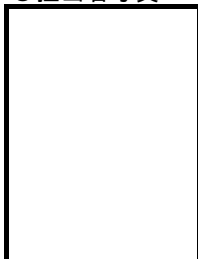
● 二次交通情報

交通機能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【宿泊】岩手県立野外活動センター
	【食事】陸前高田ワタミオーガニックランド

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

東日本大震災津波伝承館
主任主査 佐々木 裕輝
TEL：0192-47-4455

お食事に関するご案内



ワタミオーガニックランド
最大300名様まで
お食事ができます！

広大な敷地をもつワタミオーガニックランド
修学旅行や社員研修など大人数のお食事も
ご用意できます。
様々なプランをご用意しておりますので
お気軽にご相談ください！

ハンバーガーづくり体験

ワタミオーガニックランドの
名物、野菜たっぷり大きな
オリジナルバーガーを皆で
つくって食べれます！

農園バーガー（1800円税込）

岩手県産のお肉でつくった
手ごねパティとたっぷり野菜

ササミカツバーガー（1600円税込）

地元の鶏肉・清流若鶏
をサクサクに揚げた
ササミカツバーガー



ワタミオーガニックランド以外でのお食事
にも対応！

旅行会社様で予め組まれている団体ツアー
で、大量のお食事を要する場合にも現地
まで配送可能です。

乗務員向けのお食事もお用意できますので
お問い合わせください。



ワタミオーガニックランドはSDGsを体験しながら 楽しく学べるテーマパークです



散策順路ガイド

- 散策順路①
おらほハウス
- 散策順路②
休憩棟 & 木づかいハウス

- 散策順路③
ぶどう園
- 散策順路④
露地栽培園
- 散策順路⑤
みんなの森

園内施設ガイド

- カフェ
- 食事・休憩（おらほハウス）
- 休憩棟
- トイレ
- バス停（グリーンズローモビリティ）
- 駐車場

子供も大人も！園内のアクティビティや食事など体験を通してSDGsが楽しみながら学べます！！

場内案内



BBQ・手作りバーガー体験



植樹体験



種アート体験



陸前高田 watami
オーガニックランド

修学旅行・団体様向けプログラムのお問い合わせ先

TEL 0192-53-2107 (受付時間10:00-17:00)

E-mail info-rt-organic@watami.net

「東日本大震災津波伝承館」から車で5分
〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影309



地元のおいしいを
集めました

岩手県肉お弁当

+150円 (税込) でお茶付けられます!!



地元食材や園内で収穫した野菜を使用しています!!

岩手県産肉の手ごねハンバーグ!! 農園ハンバーグ弁当

1,500円 (税込)

岩手県の牛と豚の挽肉をオーガニックランドのスタッフが丁寧に手ごねして焼き上げたジューシーで大きなハンバーグを盛りつけました。



県内を代表するお肉が一度に楽しめる!!

気仙三昧弁当

1,800円 (税込)

キロサ牧場「岩手めんこい黒牛」のカルビ、住田町有住の山奥、静かな自然の中で育った「ありすポーク」のそぼろ、東日本生産量No.1*鶏「南部どり」を豪華に盛りつけました。

* 出典：農林水産省「令和元年生産農業所得統計」



やわらかジューシー南部どり!! 季節の農園弁当

1,300円 (税込)

地元の酔仙酒蔵の酒粕を使用し、南部鶏のうまみを引き出したワタミオーガニックランド特製のとり味噌漬けを盛りつけました。



陸前高田 watami
オーガニックランド

修学旅行・団体様向けプログラム 各種体験案内



きづかいハウス

地元気仙地域でとれる気仙杉を使用した木造ハウスです。
足元にはウッドチップも敷き、木の香りに包まれる施設となっております。

施設内体験

キーホルダーや種アートは屋内で
植樹は屋外で行う体験です。

屋内体験は上記のきづかいハウス
で行います。

各体験30～45分程度で行えます。
お客様のご都合に合わせて
調整することも可能です。



<鹿皮キーホルダー>

岩手では鹿が多すぎるため駆除対象になっています。
ただ駆除するのではなく、それを有効活用するため
鹿皮のキーホルダーを作る体験を提供しています。
世界に一つだけのオリジナルキーホルダーをぜひ！



<植樹>

当園では様々な循環を大切にしています。
自然界の循環に大きく貢献している木を植えることで
オーガニックランドにも循環をつくろうとしています。
木がどのような役割を果たしているのか学びましょう。



<種アート>

種というのはすべての命の源です。
種が無ければ植物は生まれず、植物が無ければ動物も
育つことができません。
そんな種について学びながらアートを楽しみましょう。

岩手県産の牛肉や豚肉 手ぶらでBBQ



地元食材や園内で収穫した
野菜を使用しています!!

+150円（税込）でお茶付けられます!!

牛肉と豚肉を両方贅沢に!!

●牛肉 ●豚肉 ●ウインナー ●野菜 ●ご飯

まるごと岩手堪能BBQセット

2,800円（税込）

岩手めんこい黒牛・岩手県産の豚バラ肉だけでなく
ウインナーセットも岩手県産のものを使用!!



手作りバーガーセット

1,800円（税込）

オーガニックランド特製の大きな
ハンバーガーを作ってみませんか？
新鮮野菜がたっぷり入り、
合挽肉の手ごねパティがジューシー!!
こぼれる美味しさをご堪能あれ!!

※時期により食材が変わります



お手軽BBQセット

1,800円（税込）

手軽にBBQを楽しみたい方にお勧め!!
岩手県産の豚がしっかり楽しめます!!



めんこい黒牛BBQセット

3,500円（税込）

岩手めんこい黒牛の肩ロースがたっぷり!!
BBQはやっぱり牛肉!!という方はぜひ!!

Drink Menu

その他軽食やデザートも
ございます

●	プレミアムモルツ	¥350
●	レモンサワー	¥350
●	ハイボール	¥350
●	オールフリー	¥300
●	ソフトドリンク各種	¥300



No.

■ 体験メニューの種類

震災学習・SDGs体験

■ 商品素材名称

陸前高田ワタミオーガニックランド

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

震災学習＋SDGs学習

【概要】

東日本大震災津波伝承館から車で5分程度の場所です。
東日本大震災津波からの復興を【命と循環】、SDGsをテーマに自然の恵みを体験できる施設となっています。

伝承館内の芝生でのお弁当配送（ゴミの回収含む）も承っております。雨天の際にはオーガニックランド内施設でお食事いただけます。

【注意事項】

体験学習などは予約が必要になります。10日前までにご予約下さい。

所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町土手影309		
種別	体験学習・見学・食事	料金	食事：1300円～ 体験：1000円～
受入人数	300人	所要時間	60分～ ご利用内容で異なります。
営業時期	通年（年末年始除く）	営業時間	9：00～17：00
集合場所	ワタミオーガニックランド	解散場所	ワタミオーガニックランド
駐車場状況	大型6台、自家用30台	現地ガイド	ワタミオーガニックランドスタッフ
予約申込期限	10日前までに	業者コミッション	契約状況による
問合せ先	TEL：0192-53-2610 メール：info-rt-organic@watami.net		

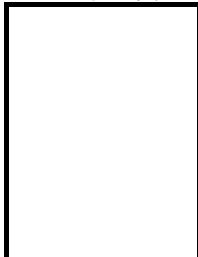
備考 (※) 一般団体料金等について記載のこと。	*1 料金は入場無料。 ・ 食事 お弁当 1300円～ BBQ、ハンバーガー作り体験 1800円～ ・ 体験学習の所要時間は60分～ 場内案内散策ツアーガイド 60分@1500円 植樹体験 60分@1500円 種アート体験 60分@1000円
-----------------------------	---

● 二次交通情報

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

交通機関 利用可能	三陸自動車道「陸前高田長部IC」から約5分	付近情報	
	三陸自動車道「陸前高田IC」から約7分		

● 担当者写真



● 担当者連絡先

ワタミオーガニックランド株式会社
田端 孝芳 / Takayoshi Tabata

〒029-2204
岩手県陸前高田市気仙町字土手影309
電話：0192-53-2107
携帯：080-4273-4702
メール：t_tabata@watami.net



岩手県立野外活動センター

ひろたハマラインパーク

Hirota Hamaline Park

令和8年4月1日より新体制運営開始

本施設は指定管理制度のもと、NPO法人国際自然大学校（NOTS）が運営を担います。



学びと成長の総合フィールド

野外・水辺の活動

防災・復興学習

創作活動・スポーツ体験

集団宿泊・合宿研修

陸前高田の大自然を舞台に、ここでしか得られない「防災学習」をはじめ、
野外活動、創作体験、スポーツ合宿などを通して主体性や協働性を育む多彩な経験と学びが広がります。
子どもたちの「やってみたい!!」を引き出し、生きる力を育む成長の拠点です。

岩手県立野外活動センター

〒029-2208 陸前高田市広田町字大久保124-1

TEL: 0192-22-9800 / FAX: 0192-22-9810

Mail: info@iwate-yagai.com

指定管理者：NPO法人国際自然大学校



公式Webサイト

詳しくはホームページを
ご覧ください▶▶▶



■ 多彩な体験プログラム



野外・水辺の活動

いかだ作り、磯遊びやサンドクラフト、キャンプ、野外炊事、ウォークラリーなど、三陸の海と自然を活かした体験プログラム。



防災・復興学習

避難所運営体験(HUG)、津波避難すごろく、防災ウォッチングやウォークラリーなど、陸前高田ならではの命を守る学びが充実。



創作活動・ニュースポーツ

七宝焼き、ジェルキャンドル等の創作体験や体育館や研修室などの室内活動施設も完備。また日帰り利用のほか合宿研修・各種球技大会の連日利用にも対応可能。

■ 施設ガイド

■ 運動広場

400mトラック

直線 9 コース・トラック 8 コース
サッカーフィールド(105m×68m) ラグビー兼用
軟式野球場2面・走幅跳・走高跳・砲丸投げ・ハードル走

■ テニスコート

砂入り人工芝 8面

軟式・硬式に対応 / 夜間照明完備

■ 体育館

バレーボール2面・バスケットボール2面

バドミントン3面

アリーナ・ステージ・更衣室完備

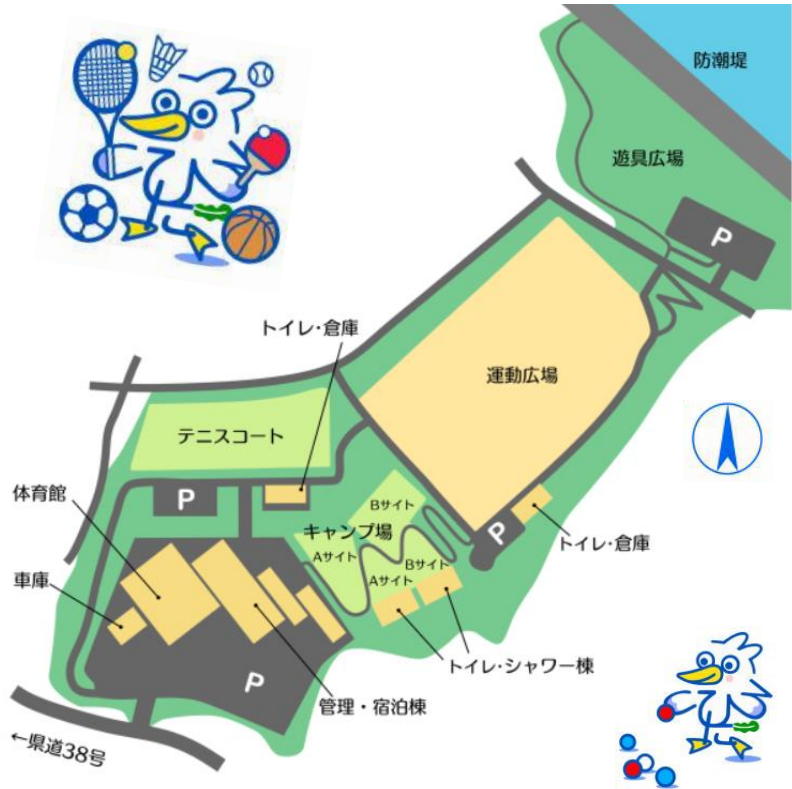
■ キャンプ場

テントサイト× 2 / ファイヤーサークル× 2

かまど10基を備えた炊事棟

トイレ・シャワー棟× 2

■ アクセス



■ 周辺の主な学習施設からの所要時間

地域・施設	車移動時間
盛岡・動物公園ZOOMO	約130分
平泉・中尊寺	約90分
仙台・うみの杜水族館	約190分



■ 料金表（令和 8 年 4 月 1 6 日現在）

※ 料金は変更になる場合があります。価格は全て税込みです。

■ 食事料金

区分	朝食	昼食	夕食
小学生以下	590円	720円	900円
中学生以上	600円	740円	920円

※野外炊事等については「野外炊事・弁当等メニュー」をご覧ください。

■ シーツ等洗濯代

品名	料金
シーツ・枕カバー（1式）	310円
シュラフシーツ（1式）	310円

※汚損の場合は別途料金がかかります。

■ 宿泊室使用料（1人1泊）★

小・中学生	高校生・学生・勤労青少年	一般
460円	690円	920円

※「勤労青少年」とは、25歳未満の学生以外の方を指します。

■ キャンプ場使用料★

区分	単位	小・中学生	高校生等	一般
テントサイト	テント1泊1張(持込含む)	250円	370円	490円
炊事サイト	1日(宿泊は両日)	770円	1,160円	1,540円

※キャンプ場シャワー室：1人1回140円／炊事用具：1式(10人分)150円

■ 薪代等

種別	小サイズ	中サイズ	大サイズ
キャンプファイヤー用薪	1,600円	2,500円	3,200円
炊事用薪（1束）	400円	—	—
石灰（1袋）	1,100円	—	—

■ 創作活動料金

プログラム	料金	プログラム	料金
フォトフレーム	350円	竹とんぼ(2個)	150円
ジェルキャンドル	550円	ぐにゃ風	300円
焼き板工作 ※別途薪代	300円	七宝焼き	700円
火おこし体験(1セット6人迄)	300円	あわびキラキラマグネット	350円

■ 体育施設使用料金（1時間あたり）★

※利用人数は問いません

施設名	小・中学生		高校生等		一般	
	半面	全面	半面	全面	半面	全面
運動広場	420円	830円	630円	1,240円	840円	1,650円
体育館	490円	960円	730円	1,440円	970円	1,910円
テニスコート(1面)	430円	—	650円	—	860円	—

※体育館をアマチュアスポーツ以外で使用する場合は入場料を徴収する場合は別料金

■ 付属設備等使用料金（1時間あたり）★

種別	内容	料金
スポーツ用具	軟式野球、ソフトボール（ベース・杭含む）	330円
	陸上競技（ハードル、高跳び用具、バトン）	190円
	バスケットボール（ゴール含む）	170円
	卓球（卓球台、ネットセット）	90円
	ラグビー、サッカー、テニス 等	50円
ニュースポーツ用具	パレー、バドミントン、グラウンドゴルフ 等	50円
	シャフルボード、カラーリング、ユニカール 他	50円
放送設備	備え付け設備（プロジェクター含む）	330円

■ 電気料金

施設	7～9月		10～6月	
	全面	半面	全面	半面
体育館	70円	30円	70円	30円
テニスコート(1面)	70円	—	70円	—

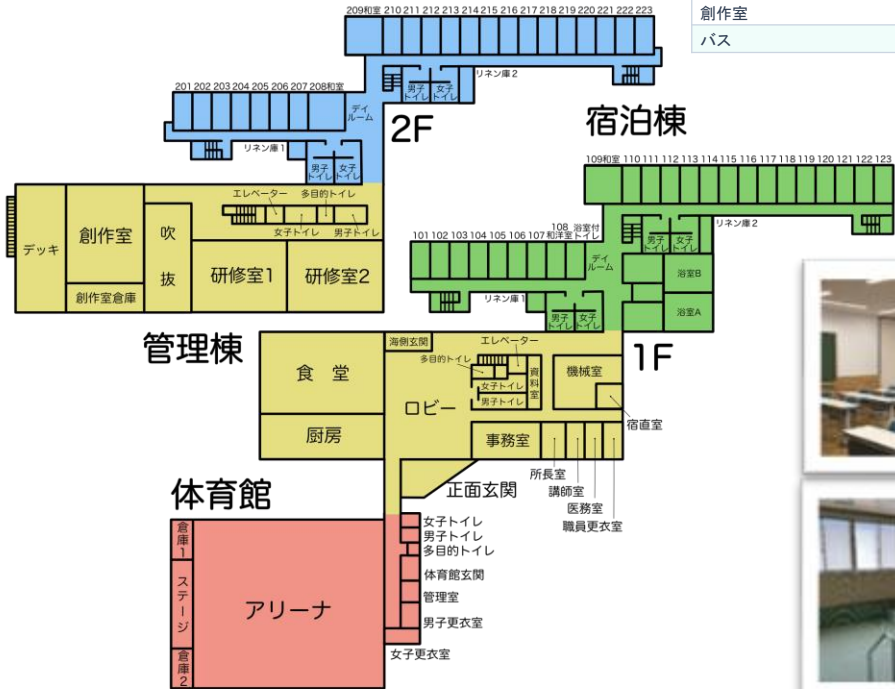
■ 宿泊棟

タイプ	定員	室数
洋室	4名	42室
和室	8名	3室
和洋室	2名	1室

大浴場完備／宿泊最大収容 約200名

■ 食堂・研修施設

施設	収容人数
食堂	200席
研修室1・2	各約80～100名
創作室	100～120名
バス	定員44名



【施設使用料金の減免】

下記の場合、★料金（キャンプ場シャワー、電気代除く）の減免が可能です。事前にご相談ください。

- ・教育課程に基づく学習活動として学校が主催する事業
- ・身障者手帳、療育手帳、子育て応援パスポートをお持ちの方
- ・県又は県教委が主催する野外活動及びスポーツの推進事業 等

【料金支払先・時間等】

事務室（支払い対応時間 8:45～17:00）

※現金払いです。お釣りのないようにご準備ください。



No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

宿泊

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

海に見える研修施設で宿泊体験

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

海洋性野外活動機能、集団宿泊研修機能、スポーツ合宿機能、復興教育研修機能、防災教育研修機能という5つの機能を有しています。

宿泊利用でも体験が利用できるほか、野外炊事など研修施設ならではの体験をすることも可能です。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	宿泊	料金	備考に掲載
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	1泊～
営業時期	通年（毎週月曜休所日）	営業時間	9:00～17:00
駐車場状況	大型5台、普通車88台	解散場所	現地
予約申込期限	電話予約後1か月前迄に各申請書の提出（メール、FAX等）	現地ガイド	野外活動センター職員
		業者コミッション	なし
問合せ先	TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810 MAIL: info@iwate-yagai.com		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

○宿泊室使用料

1泊…小・中学生：460円、高校・その他学生・勤労青少年：690円、一般：920円

※勤労青少年とは、25歳未満で学生以外の方を指します。

○宿泊室の種類

洋室（定員4名）団体利用の場合、洋室（全42室）に加えて和室（定員8名）も1室お使いいただけます。

※団体数や人数によって変更する場合があります。詳しくは問い合わせ先へご相談ください。

○宿泊可能人数

5名～194名

○食事料金

小学生以下…朝食：590円、昼食：720円、夕食：900円

中学生以上…朝食：600円、昼食：740円、夕食：920円

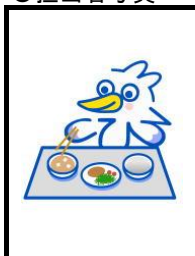
● 二次交通情報

交通機関	
利用可能	
関能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター

副所長 大瀧 裕基子

指導員 北條 伸一

TEL: 0192-22-9800

FAX: 0192-22-9810

MAIL: info@iwate-yagai.com

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

野外活動体験

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

海に見える研修施設で野外活動

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

野外活動では、施設内で体験可能なキャンプファイヤーや野外炊事などが体験できる他、施設周辺でウォークラリーやトレッキングなど7種類のプログラムを用意しております。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	※2
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	30分～240分
営業時期	通年（※1）毎週月曜休所日	営業時間	9:00～17:00
集合場所	現地（岩手県立野外活動センター）	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	約1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810 MAIL: info@iwate-yagai.com		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

※1 活動プログラムによって体験可能な時期が定められています。

※2 体験料は以下、一例を掲示します。詳細はホームページをご覧ください。

【キャンプファイヤー】

- ・大 薪30本、背板10枚、炊事用薪1束、灯油500mL…燃焼時間 約90分 3,200円
- ・中 薪20本、背板10枚、炊事用薪1束、灯油500mL…燃焼時間 約60分 2,500円
- ・小 薪15本、背板5枚、炊事用薪1束、灯油500mL…燃焼時間 約45分 1,600円

【野外炊事】

- ・カレーライス：最大200人（1班 4～10名）3～4時間 540円/1名
- ・焼きそば：最大100人（1班 3～6名）2～3.5時間 400円/1名

● 二次交通情報

交通機関	
利用可能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター

副所長 大瀧 裕基子
指導員 北條 伸一

TEL: 0192-22-9800
FAX: 0192-22-9810
MAIL: info@iwate-yagai.com

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

水辺活動体験

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

広田湾各所の海で水辺活動

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

水辺活動では、付近の海辺へと移動し、いかだ体験や海釣り体験、磯遊びなど海のある地域ならではの体験プログラムを5つ用意しております。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。
※その他プログラムや詳細はホームページを御覧ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	無料
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	180分～270分
営業時期	通年（※）毎週月曜休所日	営業時間	9:00～17:00
集合場所	現地（岩手県立野外活動センター）	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	約1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810 MAIL: info@iwate-yagai.com		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

※活動プログラムによって体験可能な時期が定められています。

【磯遊び】

・5～9月 小学生～ 40人程度（1班 応相談）3時間 石浜海岸

【サンドクラフト】

・6～9月 制限なし（1班4～10人）3時間 大野海岸、石浜海岸

【いかだ体験】

・6～9月 小学5年生～ 40人程度（1班6人程度）3.5時間～ 石浜海岸

【海釣り体験】

・通年 大人同伴で何歳でも可 40人程度（1班 応相談）3時間～ 六ヶ浦漁港

【トレッキング】

・通年 小学生～ 人数制限なし（1班4～6人）1～3時間 広田半島海岸沿い

● 二次交通情報

交通利用可能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター

副所長 大瀧 裕基子
指導員 北條 伸一

TEL: 0192-22-9800
FAX: 0192-22-9810
MAIL: info@iwate-yagai.com

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

防災教育体験

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

沿岸地域の復興・防災教育活動

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

復興・防災教育活動では、万が一に備えて避難所を模擬運営するゲーム（通称：HUG）や、段ボールベッド・トイレの組み立てや非常持ち出し袋の確認などをする避難所開設体験などのプログラムを6つ用意しております。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	無料
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	60分～150分
営業時期	通年（毎週月曜休所日）	営業時間	9：00～17：00
集合場所	現地（岩手県立野外活動センター）	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	約1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-22-9800 FAX：0192-22-9810 MAIL：info@iwate-yagai.com		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

一例）

【津波避難すごろく】

・通年 小学3年生～ 40人程度（1班3～5名）1.5時間 研修室使用

【非常持ち出し袋ゲーム】

・通年 小学5年生～ 50人程度（1班4～5名）1～1.5時間 研修室等

【防災ウォッチング】

・通年 小学校高学年～ 100人（1班10名まで）2時間 野外活動センター周辺屋外

【避難所運営ゲーム】

・通年 中学生～ 最大100人（1班6名程度）2時間程度 研修室使用

※その他プログラムや詳細はホームページを御覧ください。

● 二次交通情報

交通機関	
利用可能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

岩手県立野外活動センター

副所長 大瀧 裕基子
指導員 北條 伸一

TEL：0192-22-9800
FAX：0192-22-9810
MAIL：info@iwate-yagai.com

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

創作(屋内)活動体験

■ 商品素材名称

岩手県立野外活動センター

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

海辺の施設ならではの創作活動

【概要】

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた「岩手県立高田松原野外活動センター」の災害復旧代替施設として移転整備され、令和3年度に開所した施設です。

創作(屋内)活動では、あわび貝のかげらをマグネットシートに並べてレジンで固めるあわびキラキラマグネットや、砂や貝殻などを使用して飾り付けるジェルキャンドル作りなど、8種類の活動プログラムを用意しております。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス(教育旅行受入の場合)

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1		
種別	体験	料金	※備考欄参照
受入人数	最大200名程度まで	所要時間	30分～180分
営業時期	通年(毎週月曜休所日)	営業時間	9:00～17:00
集合場所	現地(岩手県立野外活動センター)	解散場所	現地
駐車場状況	大型5台、普通車88台	現地ガイド	野外活動センター職員
予約申込期限	約1か月前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL: 0192-22-9800 FAX: 0192-22-9810 MAIL: info@iwate-yagai.com		

備考

(※)一般団体料金等について記載のこと。

※各活動プログラム料金

①フォトフレーム 350円、②ジェルキャンドル 550円、③七宝焼き 700円
④あわびキラキラマグネット 350円、⑤竹とんぼ(2個) 150円、⑥ぐにゃん 300円
⑦焼き板工作※別途薪代必要 300円、⑧火おこし体験(1セット6人まで) 300円

活動人数、対象年齢、所要時間など詳しくはホームページを御覧ください。

● 二次交通情報

交通機関	
利用可能	

● 付近の情報(昼食場/その他観光施設等)

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館

● 担当者写真



● 担当者連絡先(名刺コピー貼付可)

岩手県立野外活動センター

副所長 大瀧 裕基子
指導員 北條 伸一

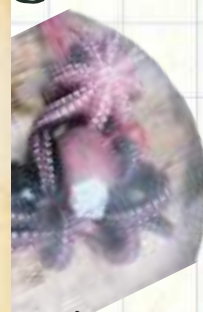
TEL: 0192-22-9800
FAX: 0192-22-9810
MAIL: info@iwate-yagai.com



千年に一度の震災は
千年に一度の学びの場へ

陸前高田 民泊修学旅行

a school trip to Rikuzentakata



震災の記憶を、未来への希望へ...

人生を、 一日一日を、 もっと大切に 生きようと思いました。

* 民泊を経験した生徒さんからの感想

岩手県陸前高田市。

忘れもしない、2011年3月11日。

この日、この町ではたくさんの尊い命、かけがえのない日常が失われました。

千年に一度といわれる東日本大震災により、
陸前高田市は人命、歴史、文化といった多くのものを失いました。
取り戻せないものもありますが、
陸前高田市では、新しい陸前高田市に向けて、
Oからのまちづくりが行われています。

そこには、命ある限り、前向きに生きている人たちがいます。

自然と共に生きている人たちや、
絶望を知っているからこそ、当たり前の日常を大切に生きる人たち。
そんな人たちの生き様から、私たちは「生きる力」を感じるでしょう。

陸前高田だからこそ、
出会った受入家庭と生徒だからこそその「学び」が必ずあります。

一人ひとりが主人公の陸前高田民泊を体験してみませんか？

陸前高田民泊の過ごし方 ～各家庭のありのままの暮らし～

民泊ではホテルや旅館、民宿への宿泊とは異なり、一般家庭に数日間泊まらせていただきます。お客さんではなく「家族の一員」として、受入家庭の「ありのまま」の暮らし体験を通して生まれる気づきや学びを大切にしています。

1 はまって会(入村式)



出会い

受入家庭とのドキドキの初対面の場。中には不安な気持ちの生徒さんもおられるかもしれませんが、受入家庭の笑顔と歓迎の言葉に、心も表情も少しずつほぐれていきます。ワクワクと安心感が生まれる大切な時間です。民泊のはじまりです！
＊生徒による司会進行も良い経験に。

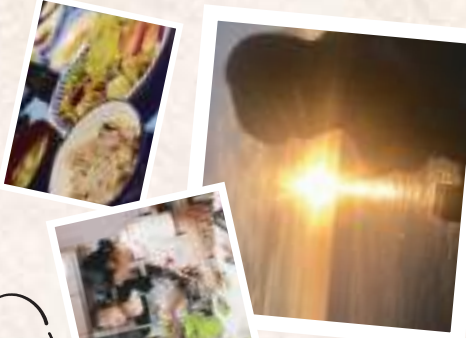


最初はお互いドキドキ

夕食づくり

最初は緊張していても、一緒にご飯をつくり、食卓を囲み、色々なお話をすることで少しずつ笑顔が増えていきます。

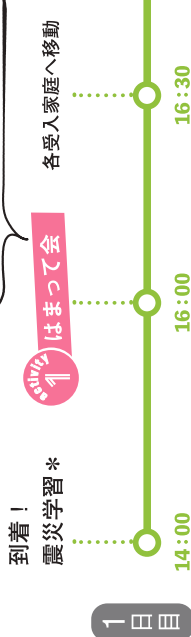
手作りのお漬物の味が忘れられない！



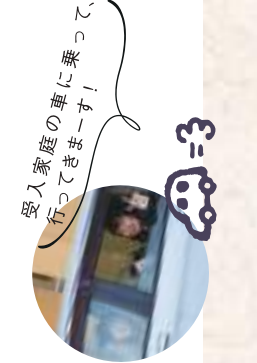
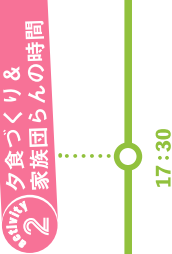
朝食

早起きをして、家の目の前の海へお散歩！地平線から昇ってくる朝日に感動！！

2泊5食コース



＊震災学習
陸前高田市内にはさまざまな震災学習ツアーのご用意がございます。別料金となりますので、人数・内容と併せてご相談ください。



受入家庭の車に乗って、行ってきまーす！



地元の食材を堪能！

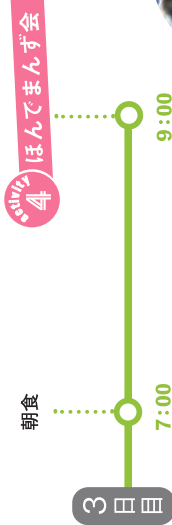


火起こし体験！



シーグラス拾い！

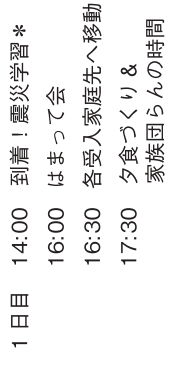
☆ ☆



＊ぼんでまんず方言で「ぼなた会おうね」

¥000

1泊3食コース



泊数、食数等は
カスタマイズ可能です。
別途ご相談ください。

3暮らし体験

＊体験作業は受入家庭によって異なります。
ご了承ください。



各家庭事の暮らし

陸前高田民泊のコンセプトは「オリジナル民泊」！家庭ごとの「ありのままの暮らし」を一緒に過ごすことで、生徒一人ひとりに学びや気づきが生まれていきます。100家庭あれば、100通りの出会いがあります。

初めての畑作業



受入家庭の人が数か月も前から育てた野菜だと知り食へ物への感謝の気持ちが生まれました。



地域散策

市街地へと歩きながら震災当時のお話を聞きます。



裏山へ探検へ！

船に乗って海へ！

料理

地元の郷土料理づくり。地域の歴史や、それぞれの地元についてお互いに会話をすること、仲が深まる時間です。



4ぼんでまんず会(離村式)



お別れ

短い滞在時間でも、生徒と受入家庭との間には確かな絆が生まれています。受入家庭も「みんなうちの子だよ、離れていてもずっと応援しているからね。」生徒も「帰りたい、また絶対来るからね。」と涙を流す場面も。さようなら、ではなく、またね。

畑からとってきた新鮮な野菜が食卓に！自然のありがたみを感じます。取れたての野菜は美味しく、苦手な野菜も美味しく食べることができました。



手作りの流し素麺！

オーディオメイドで深める事前事後学習

事前事後学習は、修学旅行前後に行う学習プログラムです。
学校様のご希望をお伺いし、オーダーメイドの学習内容をご提案致します。
生徒様一人ひとりの修学旅行での学びをより良いものにするために、ぜひ取り入れてみてくださいませんか？

解決ポイント①

今まで無関心だった「対岸の火事」に興味関心が湧くようになる

解決ポイント②

被災地に行ったときに何を見る・聞くべきか、観点が分かるようになる

解決ポイント③

「被災地の人にこんなこと聞いていいの？」といった不安が解消される

解決ポイント④

修学旅行で得た学びを今後どう活かせばいいかがつかめる

知らない・興味がない被災地や民泊に対する不安がある

被災・復興について興味が湧いている

陸前高田に行く意味を自分の中で見出している修学旅行で見えるべき視点がわかっていく

修学旅行の経験を自分事にする

1 講演会

映像や写真を交えて、様々なテーマでの講演が可能です。
①震災、津波で経験したこと
②陸前高田ってどんなところ？
③修学旅行で何が学べるの？

2 ワークショップ

例) 防災クロスロードゲーム
「非常食を自分の家庭だけで食べるか、避難所にいる他の人にも配るか？」等、実際の経験談を元に問いかけがされます。

3 グループセッション

陸前高田でボランティアをする大学生と一緒にクイズやゲーム形式で楽しく学習。民泊当日に活用できる「民泊のしおり」も作成します。

4 避難所運営ゲーム HUG

避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学ぶシミュレーション型訓練。
カードゲーム形式で、災害時に次々に起こるイベントに関して対応を瞬時に判断していきます。

5 教材提供

ご希望にあわせてワークシートを作成したり、ビデオを貸出することが可能です。
ワークシートの過去テーマ
・東日本大震災の被害について
・陸前高田市について
・防潮堤の是非を問う など

6 修学旅行後の振り返り

ワークシートを用いて、学びを自分事にと落としこむために振り返りを行います。
また、修学旅行の経験を自身のキャリア選択につながるキッカケにするキャリアプログラムにすることも可能です。



学校からのご要望（難易度・日数・テーマ）に沿う形で、オーダーメイドのプログラムを作成致します。お気軽にご相談ください。

【テーマ例】

①陸前高田市のゼロからのまちづくり政策作成
②陸前高田の「暮らし＝一次産業」に焦点を当てた食費
③陸前高田でビジネスを起こすためのプラン作成

【概要】

回数 事前学習 1 回から 3 回 / 事後学習 1 回
時間 1 回につき 50 分
費用 1 回につき 500 円 / 人 （税別）

【株式会社 & Nature】

TEL : 03-5829-6361 MAIL : info@andnature.jp HP : https://andnature.jp/



緊急時の連絡について

民泊中の体調不良など

緊急時連絡網
※事務局を通さず受入家庭に直接連絡・訪問するのはお控えください。

受入家庭から緊急の連絡

事務局

本部、学校・旅行会社様

意識喪失、ショック症状、けいれん、激痛、多量の出血、呼吸困難などの場合

救急車 病院

対応可能な病院へ

受入家庭 状況確認・対応相談

事務局の車で受入家庭へ

民泊中に万が一、災害が起きた場合

■地震・津波（注意報・津波警報）
・受入家庭は市の防災無線に従い行動する。
（なによりも迅速で確実な情報は市の防災無線です。）
※市内各所にスピーカーの設置有。
・避難する際、受入家庭は必ず生徒と一緒に避難する。
・警報や注意報が発令された場合、海辺での体験はすぐに中止して避難する。
・発令されている最中は海辺での体験は禁止。
・身の安全を確保し次第、受入家庭から事務局に安否連絡を入れる。
・電話が通じない場合は、各避難所へ安否報告・避難する。

■大雨・洪水・暴風など（注意報・気象警報）
・市の防災無線に従い行動する。
・避難が必要な場合、防災無線の指示・家庭の判断で避難をする。
※警報の有無に関わらず、状況によっては自宅待機をお願いする場合があります。その際の対応については事務局から電話にて案内します。
※事前に天候の悪化が予想される場合、旅行会社・学校様と話し合いのもと、時間を調整させて頂く場合もございます。

避難所の情報は陸前高田市役所で集約しています。
下記の流れで市役所から事務局に連絡が入ります。
市役所→事務局→学校様・旅行会社様→保護者様
※保護者様との連絡は学校様にお問い合わせしています。
※混乱を避けるため、各受入家庭への直接の連絡はくれぐれもお控えください。

次の番号に電話をかけることで、市の防災無線の内容を確認できます。
【電話応答サービス（通話無料）】 0120-273-256
緊急時の対応については、受入家庭の皆様にも同様の対応を安全講習会で必ず伝えていきます。

31

全国の生徒さん、受入家庭からの声

生徒感想

受入家庭感想

初めて会った時から、受入家庭さんが優しく話しかけてくださって、すごく嬉しかったです。
気づけば不安な気持ちが、楽しくしょうがない気持ちへ変わっていました。



震災のお話を聞いて、中学生が地域のためにとても頑張っていたことが伝わってきました。もし自分が住む町で震災が起ってしまった時は、「私たちが一番に地域のために動かなければならない」と改めて思いました。

一番思い出に残っているのは初めて食事をした夜の事です。家族団楽でご飯を食べることに感動しました。
自分を本当の家族のように出迎えてくれて本当に嬉しかったです。



民泊を通して、価値観を疑うことを学びました。違う価値観や生き方、新しい世界お互いが触れることができて、とても良かったです。
By 民泊受入家庭 60代女性

何より、じいちゃんとたくさん遊んでしゃべることができたのがとても嬉しかったです。「本当の家族が増えたみたい」とじいちゃんが言ってくれた時は、すごく嬉しかったよ。



東日本大震災から10年。大きな被害を受けた陸前高田市は、ハード、ソフトの両面で再起に向けた歩みを着実に進めています。自然災害によって大きく変化した地域を知り、防災の大切さを再認識していただければ幸いです。
海と山の幸に恵まれた三陸で、楽しい時間を共有できることをお待ちしております。
60代男性



陸前高田市に来てわかったことがたくさんありました。その中でも心に残ったのは、震災が起ってから「人のありがたみ」というものを知ったということです。これからは私は、なんとなく毎日を過ごしていくのではなく、お母さん、お父さんに感謝をしていこうと思います。
また、困っている人がいたら助けたりしたいと思います。



陸前高田での一期一会の出会いが、その場にいる一人ひとりの記憶に刻まれています。

民泊はやってみるととても楽しい。
孫がないから、孫のようです。
泊まった子供たちから手紙がくると嬉しく、民泊した子供たちが、その後どう成長していくのかもとても楽しみです。
70代女性



復興に向けての復旧作業に取り組んでいる方々の姿に、とても感動しました。そして、少しでも力になり「支える」ことが出来るようになりたいという気持ちが生まれました。



民泊のご利用に際して

- 受入家庭は、基本的に実施より約2か月前に決定します。
- 体験の内容は受入家庭により異なりますので、事務局にご一任ください。
- ご利用に際し先生方などの事前の下見受入れも随時行っております。詳細はお問い合わせください。
- 体験時間内の緊急連絡体制などについては別途お打ち合わせをお願いします。
- 体験時間以外の個人的な行為により生じた諸問題の責任は負いかねます。

特定非営利活動法人 SET

〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字山田 52-6

TEL/FAX 0192-47-5747

MAIL set.forjapan@gmail.com (代表)
minpaku@npo-set.org (民泊専用)

HP <https://set-hirota.com/>

民泊 HP <https://takataminpaku.npo-set.org>

「高田民泊」で検索ください！



SET



民泊



No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

生活体験学習

■ 商品素材名称

陸前高田民泊

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

陸前高田市のリアルな生活体験・交流事業

【概要】

陸前高田民泊は、一般のご家庭に泊まりながら、町でのリアルな生活を体験したり、町の方と交流することができる事業です。お客さんではなく、“その家の家族の一員”として暮らしや生活を共にすることを大切にしています。2019年には4000名以上の民泊受け入れを成功し、2020年からのコロナウイルスでの休止を経て2022年秋から本格的に受入再開となりました。2024年度、延べ約4000人の受け入れを実施し、コロナ前水準に回復。生徒への事後アンケートでは、満足度は10点中平均9点以上と高い評価をいただいております。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字山田52-6		
種別	体験	料金	1泊2食11,000円、1泊3食14,800円、2泊5食22,800円（※3）
受入人数	最大400人程度（※1）	所要時間	1泊～2泊（行程による）
営業時期	年末年始、お盆期間以外	営業時間	平日：9:30～17:00
集合場所	（※2）	解散場所	集合場所に同じ
駐車場状況	大型バス収容可能（10台以上）	現地ガイド	無し（巡回に事務局は同行いたしません）
予約申込期限	6ヶ月前	業者コミッション	1泊の場合/1,000円（税込） 2泊の場合/2,000円（税込）
問合せ先	Mail：takataminpaku@nposet.com		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

2026年度より当市に隣接する大船渡市・住田町との広域受け入れを開始し、現在は移行期間中となります。2027年度からは「気仙民泊」として新たな名称でスタートします。

今後も、震災・防災学習をはじめ、田舎暮らし体験や地域の方との温かな交流を大切にした民泊体験を提供してまいります。広域での受け入れとなりますが、いずれも集合地点より40分圏内の受入家庭でのご滞在です。

※1 前後の予約状況によって受け入れ可能人数が異なるため、お問い合わせください

※2 夢アリーナたかた、陸前高田市コミュニティホールなど（規模によって変更あり）

※3 いずれも税別。2028年度以降の料金についてはお問い合わせください

● 二次交通情報

交通機関	
利用可能	
関能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館
	【土産】道の駅高田松原

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

（認定）特定非営利活動法人SET
陸前高田市民泊担当 吉原直矢
Mail：takataminpaku@nposet.com

利用案内

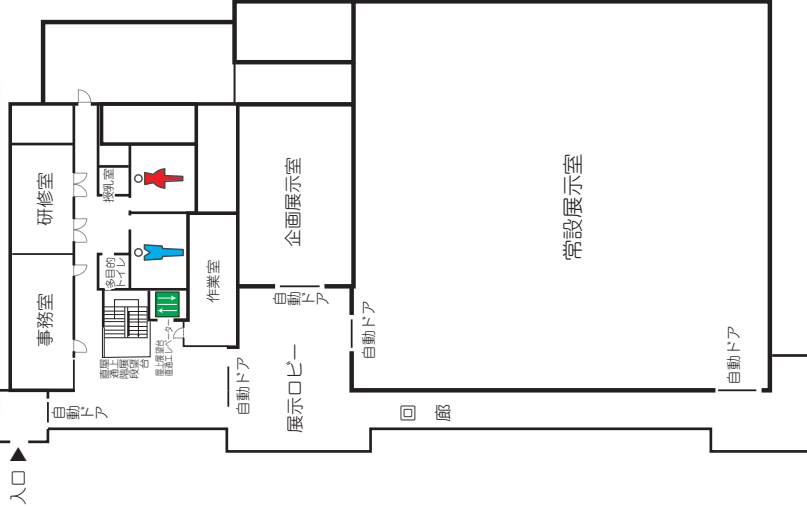
開館時間：午前9時から午後5時まで
(最終入館は午後4時30分まで)
休館日：12月29日から翌年の1月3日まで
：月曜日(祝日・休日の場合は翌日)

観覧料：無料(特別展示を行う場合は、展示内容に応じ、観覧料を徴収する場合があります)

お願い

- ・展示資料には、手を触れないでください。
- ・展示室内では携帯電話での通話はご遠慮ください。
- ・撮影禁止マークの展示資料の撮影及びフラッシュ撮影は、ご遠慮ください。また、三脚や自撮り棒の使用もできません。
- ・展示室内での飲食はご遠慮ください。
- ・敷地内での喫煙はご遠慮ください。
- ・その他スタッフの指示に従ってください。

平面図



アクセス

1 公共交通機関

【一ノ関駅より】

- (1) JR 一ノ関駅より JR 大船渡線で JR 気仙沼駅まで約1時間20分
- (2) JR 気仙沼駅より JR 大船渡線 BRT で陸前高田駅まで約40分
- (3) JR 陸前高田駅より徒歩約1分

【花巻空港より】

- (1) JR 花巻空港駅より JR 東北本線一ノ関駅まで約1時間
- (2) JR 一ノ関駅より JR 大船渡線で JR 気仙沼駅まで約1時間20分
- (3) JR 気仙沼駅より JR 大船渡線 BRT で JR 陸前高田駅まで約40分
- (4) JR 陸前高田駅より徒歩約1分

※ なお、花巻空港から自動車をご利用の場合、県道286号等を経由して約1時間30分

2 自動車

- ・三陸沿岸道路陸前高田により約5分
- ・釜石道宮守により国道107号・340号経由で約50分
- ・東北道一関により県道19号、国道343号・340号経由で約1時間20分

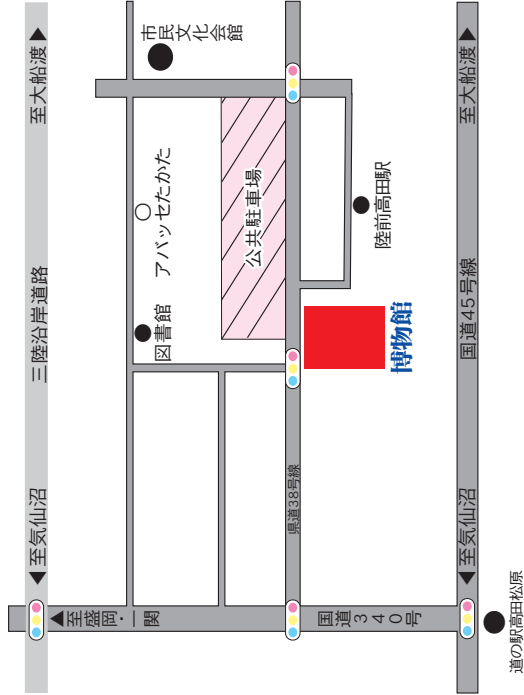
※ 上記交通手段の所要時間などはおおよその目安時間です。

ご利用の際は、最新の時刻表等をご確認のうえお出かけください。

※ 駐車場はアバッセかた前の公共駐車場をご利用ください。

3 タクシー

- ・(株)気仙タクシー 0192-55-3241
- ・(有)高田交通タクシー 0192-56-2000
- ・高田タクシー(有) 0192-55-3118



陸前高田市立博物館

〒029-2205

住所：岩手県陸前高田市高田町字並杉300番地1

TEL：(0192) 54-4224

FAX：(0192) 54-4225



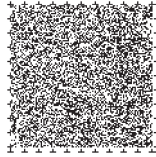
ホームページ

陸前高田市立博物館

RIKUZENTAKATA CITY MUSEUM



このマークは目の不自由な方のための「音声コード」です。



9 発見の部屋



陸前高田市の自然や歴史、文化などについて遊びながら学ぶことのできるコーナーです。

8 貝たちの部屋



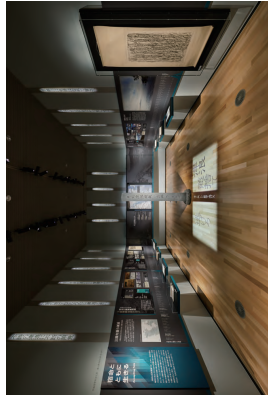
世界各地から集めた約2,000点の貝類標本を展示します。

7 よみがえる博物館



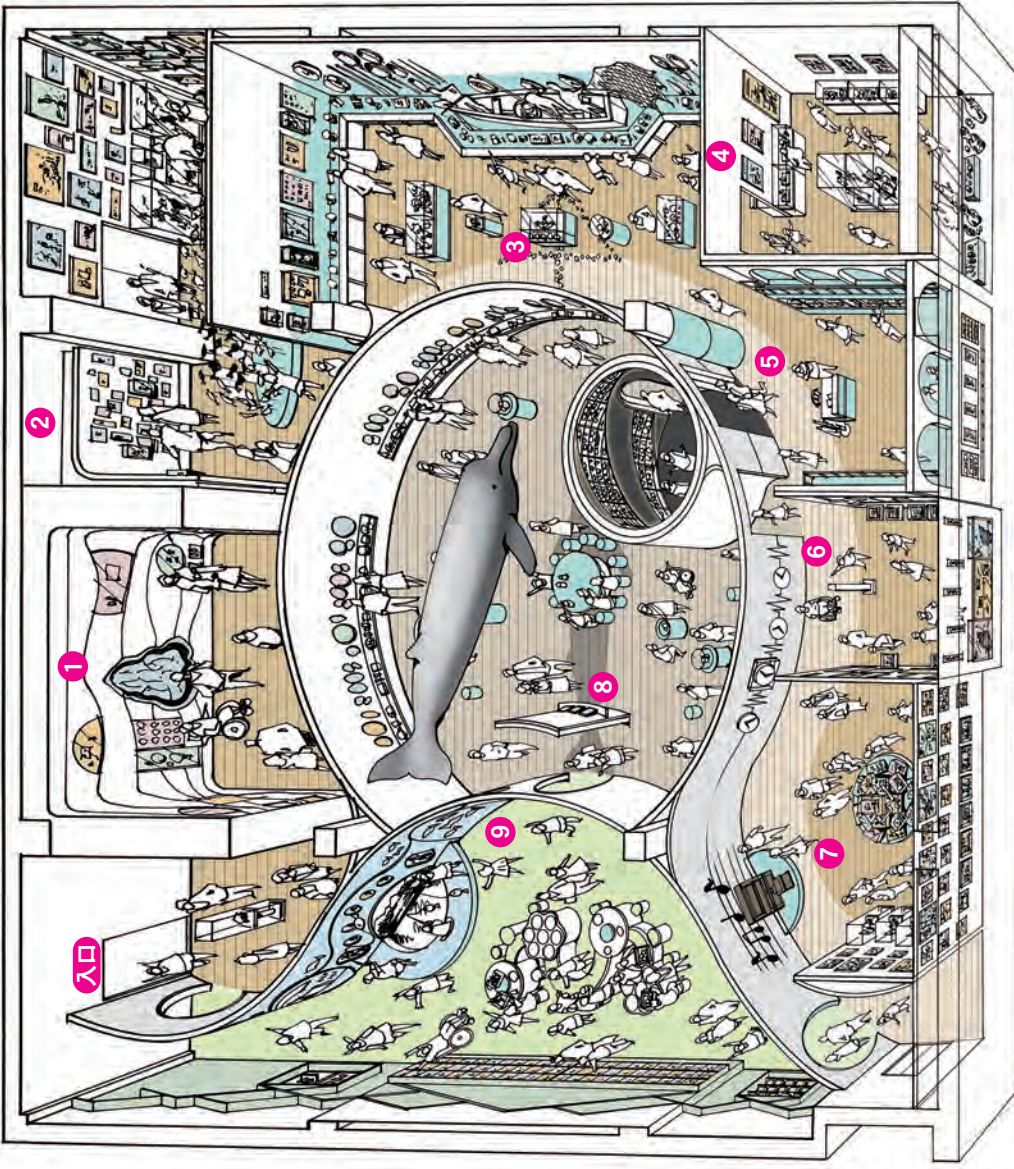
被災した文化財の救出と、全国の博物館などの協力によってよみがえりつつある過程を、安定化処理や修復の技術とともに紹介します。

6 宿命とともに生きる

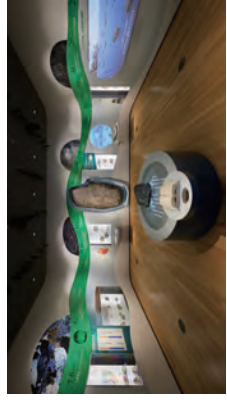


陸前高田を襲った津波の歴史と教訓を紹介します。

陸前高田の豊かな自然・歴史・文化を、震災の記憶とともに未来へ
伝え、地域に根差し、活力あるまちづくりを推進する総合博物館



1 大地の成り立ち



日本列島の成り立ちを知る上で、重要な地域である陸前高田の大地。岩石や化石標本とともにその生い立ちをたどります。

2 奇跡の海 三陸



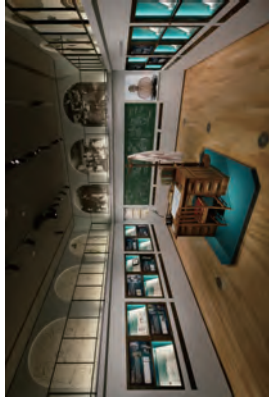
魚の王国と呼ばれる三陸の海、そして豊かな海を支える陸前高田の山から川・海への生物の多様性を四季と環境とともに紹介します。

3 海をあげめ 海にあらがわず 海と生きる



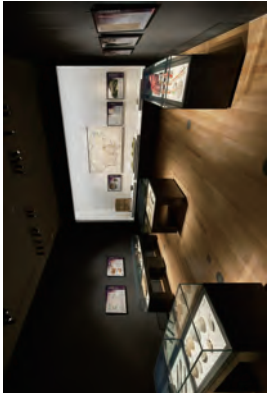
広田湾周辺に広がる貝塚をとおして縄文の海の豊かさを伝えとともに、その中から発掘してきた漁撈用具を使用法と合わせて紹介します。

5 博物学の世界



本市の博物学者である鳥羽源藏、その愛弟子・千葉蘭児の業績や貴重なコレクションを紹介します。

4 資料が語る陸前高田の歴史



陸前高田の歴史や民俗を物語るうえで欠かすことのできない様々な資料を展示します。

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

見学ガイド

■ 商品素材名称

陸前高田市立博物館

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

学芸員による展示ガイド

【概要】

博物館学芸員による常設展示等の解説。陸前高田の自然、歴史、文化について震災の記憶と共に学べる内容となっている。

【注意事項】

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字並杉300-1		
種別	見学	料金	無料
受入人数	20名（それ以上は要相談）	所要時間	60分～120分
営業時期	通年（月曜休館※祝日の場合は翌日）	営業時間	午前9時～午後5時
集合場所	現地（陸前高田市立博物館）	解散場所	現地（陸前高田市立博物館）
駐車場状況	お近くの公共駐車場をご利用ください	現地ガイド	学芸員によるガイド(1名～2名)
予約申込期限	ご利用日の5日前	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-54-4224		

備考

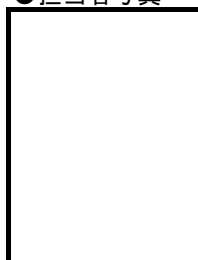
（※）一般団体料金等について記載のこと。

受け入れ人数について、20名以上の場合でも受け入れは可能ですが、見学方法について調整する必要があるため、あらかじめご相談ください。

● 二次交通情報

交 利 通 機 関 能		付 近 情 報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
			【見学】東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMI（つなみ）メモリアル）
			【食事】陸前高田ワタミオーガニックランド

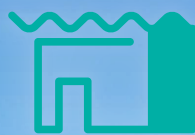
● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

陸前高田市立博物館
学芸員 浅川崇典
TEL：0192-54-4224

陸前高田



3.11

仮設住宅体験館



東日本大震災で
使われた仮設住宅を
再現して宿泊研修
できるのは
全国でここだけ！

陸前高田市では、震災の教訓を伝える場、防災・減災を学ぶプログラムの一環として、震災当時に使用した応急仮設住宅の一部を活用した、体験施設を整備しています。実際に仮設住宅で生活していた方々に語り部等として参画を求め生業と生きがいの場を創出することで、コミュニティの活性化や交流人口の拡大を図ることを目的としています。

※当時は地震の発生に伴う災害救助のために必要な応急的な仮設建築物として、緩和措置（建築基準法第85条第5項）を適用し木杭の上に建設されました。
当施設は本設となることから、建築基準法に則りコンクリート基礎に改修しています。
※応急仮設建築物から旅館へ用途変更したことから建築基準法に則り排煙設備が必要となり、各部屋の上部に小窓を増設しています。

SDGsの取り組み



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) に取り組んでいます。

防災マイスターがご案内

市が実施する講座で防災に関する知識・技術を学び、「陸前高田市防災マイスター」に認定されたスタッフが、施設をご案内します。



※すべて予約制です。

3.11仮設住宅体験館ってどんなところ？

当館は旧高田東中学校の敷地を活用した震災学習施設です。東日本大震災当時、この場所には「神田仮設団地」として18棟89戸の応急仮設住宅が建設されました。陸前高田市では震災の記憶を風化させないため、当時の建物2棟8戸を保存・活用しています。

当館では、実際に仮設住宅で暮らした方への聞き取りをもとに、当時の部屋を再現しています。暑さ寒さや狭さといった住環境だけでなく、住民同士の支え合いやボランティア支援によって前向きに暮らした人々の姿を知ることができます。見学を通して、防災や地域のつながりについて考えるきっかけを提供します。

陸前高田市では当初3,600～4,000戸の建設を想定していましたが、最終的に2,148戸の仮設住宅が建設されました。また、日本赤十字社から寄贈された「生活家電6点セット」は、被災後の暮らしを支える大きな力となりました。

地震発生から仮設住宅解体までの流れ

① 地震発生



2011年3月11日、M9.0の巨大地震が発生。陸前高田市は10m超の津波に襲われ、死者・行方不明者1,758名(当時の市民の約9%)という甚大な被害を受けました。(R6.10.20時点)

② 避難所での生活



市内84箇所に11,813人が避難。米崎町内でも17箇所に1,373人が身を寄せました。旧高田東中学校にも200名超が避難しましたが、建物損壊のため翌日に全員で米崎小学校へ移動しました。

③ 仮設住宅への入居・生活



陸前高田市では住まいの再建に向けて2011年4月から仮設住宅への入居が始まりました。旧高田東中学校の校庭には18棟89戸の仮設住宅が建設され、建設当初は267名が入居していました。

④ 仮設住宅の退去・解体



住宅再建が進むにつれ、旧高田東中学校の校庭に建設された「神田仮設団地」は、2019年下半年に撤去され、市内では2021年3月30日に最後の入居者が仮設住宅を退去しました。

出典：文部科学省 x 学校安全／東日本大震災の教訓
岩手県災害対策本部「避難場所等一覧(平成23年3月21日 9:00時点)」
佐藤一男「東日本大震災、体育館避難所で起きたこと」(SYNODOS)

有料

語り部

地元住民の語り部が、当時の経験談をお話します。20～70代まで6人の語り部が在籍しており、仮設住宅での暮らしを中心に、90分程度でお伝えします。

※震災時や避難所生活についても聞きたい方は、聞きたい内容を予約フォームに具体的に記載ください。
※ご要望の日時によっては地元住民からのお話が難しいこともあります。経験談をスタッフが代弁することもありますので、予めご了承ください。

語り部紹介



Aさん(男性/当時62歳・自治会長)

テーマ：孤独死防止のための交流・居場所づくりと情報共有の仕組み



Bさん(男性/当時45歳・自治会長)

テーマ：防災士が考える避難所運営と孤独死防止と情報発信



Cさん(女性/当時44歳・事務局)

テーマ：大規模仮設住宅の運営と、女性視点の暮らしの工夫・支援対応



Dさん(男性/当時61歳・居住者)

テーマ：災害意識を活かした行動と、自宅再建への前向きな取り組み



Eさん(男性/当時58歳・学校長)

テーマ：避難所運営の判断と、学校としての地域支援・復旧対応



Fさん(女性/当時5歳・幼児)

テーマ：子どもの視点の記憶と、防災意識(自分用リュック)の発信



海外や遠方など現地訪問が難しい方も、オンラインで語り部を聞くことができます。地元住民による体験談のお話に加え、施設スタッフが仮設住宅の部屋をご紹介します。

※料金は現地語り部と同様となります。

ご予約

語り部(所要時間:90分)	
予約受付	7日前
利用時間	9:00～20:00(最終入館 18:30)
定員	100名
料金(税込)	1～9名: 8,000円 10～19名: 10,000円 20～30名: 15,000円 31～100名: 1人500円
支払方法	現金・クレジットカード・電子マネー ※請求書はご相談ください。 ※二次元コードでの決済はご利用できません。
会場	● 3.11仮設住宅体験館 (10名程度) ● 旧高田東中学校 モンティ・ホール (40名程度) ● 旧高田東中学校 体育館 (100名程度)

[キャンセル規定]

利用日3日前: 語り部料金の30%

利用日前日: 語り部料金の50%

利用日当日: 語り部料金の100%

3.11仮設住宅体験館HP



詳細や空き状況カレンダーはこちらよりご確認ください。

ご予約はこちら

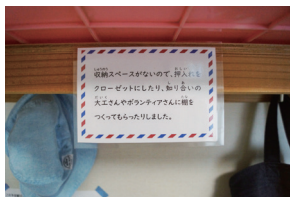


HPIにて詳細をご確認のうえご予約ください。

3.11仮設住宅体験館でこんなことをやってみよう

暮らしメモを見て想像しよう

生活する上で苦労されたことや工夫、ご近所さんとのエピソードなどを、部屋のいたるところに掲示しています。



スリッパを脱いだり、柱や壁を触ってみよう (冬季)

冬は底冷えします。当時は応急的な仮設建築物として木杭の上に建設されたため地面と床が近く、布団や寝巻を複数枚重ねても夜中に目が覚めたそうです。



防災食を体験してみよう

災害時に役立つパラコードをはじめ、保存可能な保存水や防災食を販売しています。宿泊や体験時の食事として利用できるほか、ご自宅の備蓄品として活用できます。



読んで学んでみよう

避難所での体験談や震災前の記憶など、防災や東日本大震災に関する冊子・絵本・漫画を読むことができます。大学生がまとめた冊子「たかたる。」総集編を販売しています。



無料

見学

仮設住宅を見学できます。生活する上で大変だったこと、それに対して工夫したことを、施設管理スタッフより30分程度説明します。

ご予約

見学 (所要時間: 30分)

予約受付	2日前
利用時間	9:00 ~ 17:00 (最終入館 16:00)
定員	100名
料金(税込)	無料

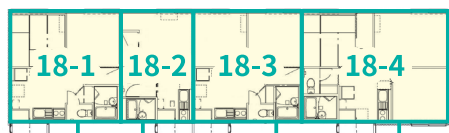


有料

宿泊研修

東日本大震災において仮設住宅で生活した方々からヒアリングを行い、7部屋を家族構成別に再現しています。ご希望の部屋タイプにご宿泊いただけます。

各部屋のご紹介



ご予約

宿泊研修

予約受付	7日前
利用時間	チェックイン 14:00 ~ 20:00 チェックアウト 10:00まで
定員	25名
料金(税込)	【部屋タイプ: 1室料金】 1DK: 10,000円/室 2DK: 13,000円/室 3K: 16,000円/室 ※1名あたりの金額は上記料金を利用人数で割った金額です。 ※室料の他に、1名あたり寝具料金1,000円がかかります。
支払方法	現金・クレジットカード・電子マネー ※請求書はご相談ください。 ※二次元コードでの決済はご利用できません。

[キャンセル規定]

利用日3日前: 室料+寝具料金の30%
利用日前日: 室料+寝具料金の50%
利用日当日: 室料+寝具料金の100%

ご準備いただきたいもの

●タオル ●歯ブラシ ●髭剃り など

※詳細は3.11仮設住宅体験館HPにてご確認ください。

防災減災フィールド

東日本大震災の経験と仮設住宅での暮らしから学ぶ、体験型の防災・減災プログラムを提供しています。

防災減災フィールド
HPIはこちらから



仮設建築物を利用した近隣の震災伝承施設

●たまご村（岩手県陸前高田市）

2012年6月にオープンしたプレハブの「仮設商店街」が、2020年7月に「村」として再スタートしました。中心市街地に移転・再建できない人や、市内外のNPOなどの異業種連携を図っています。施設内の視察や震災当時の講話もを行っています。



お問い合わせ

たまご村事務局
☎ 090-8585-9607

●ヤドカリ【市街地模型展示】（岩手県陸前高田市）

コワーキングスペース「ヤドカリ」では、震災前の市街地の1/500縮尺模型を展示しています。神戸大学棚橋研究室をはじめ全国の学生と地元住民で制作し、「記憶の旗」も加えられました。模型を通して被災状況を想像し、防災意識を高められます。



お問い合わせ

トナリノ事務局
☎ 0192-47-3287

●イコウェルすみた（岩手県住田町）

木造戸建ての仮設住宅の部材を再利用して建設した、オフィス棟・滞在体験棟などを有する施設です。木造仮設住宅を再現した展示棟では震災後の住田町の後方支援等に関する資料を展示しています。



お問い合わせ

イコウェルすみた
☎ 0192-47-5075

●石巻市震災遺構 門脇小学校（宮城県石巻市）

津波火災による被災状況を残す全国唯一の震災遺構です。平時の訓練や避難の大切さ、命の尊さを伝えるとともに、館内には当時の生活環境を伝える応急仮設住宅（プレハブ住宅）を一部移築し展示しています。



お問い合わせ

石巻市震災遺構 門脇小学校
☎ 0225-98-8630

ACCESS

3.11仮設住宅体験館

岩手県陸前高田市米崎町字神田113-10

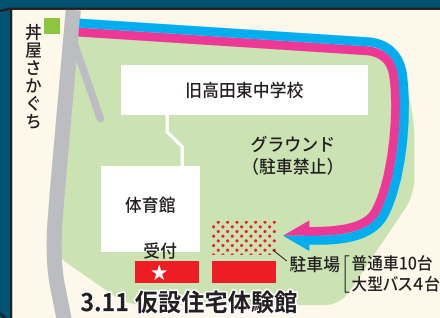


アンケートへのご協力をお願いします

今後より良い施設運営やサービス向上の参考とさせていただくため、ご来館の際にはぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。



3.11仮設住宅体験館
アンケートフォーム



各方面からの行き方



東北横断自動車道（釜石自動車道）
宮守 IC から・・・車で 55 分



三陸沿岸道路 陸前高田 IC から
・・・車で 15 分



【JR 東北新幹線をご利用の方】
一ノ関駅から・・・車で 1 時間 10 分



【飛行機をご利用の方】
いわて花巻空港から・・・車で 1 時間 20 分



最寄り 脇ノ沢駅から
・・・徒歩で 20 分

施設内設備



駐車場
普通車 10台
大型バス 4台



スロープ
有ります



トイレ
個室 8 個

お問い合わせ

3.11仮設住宅体験館（一般社団法人トナリノ）

☎ 080-2830-8412

🕒 受付時間 9:00～17:00

✉ info@311kasetu.com



3.11仮設住宅
体験館HP



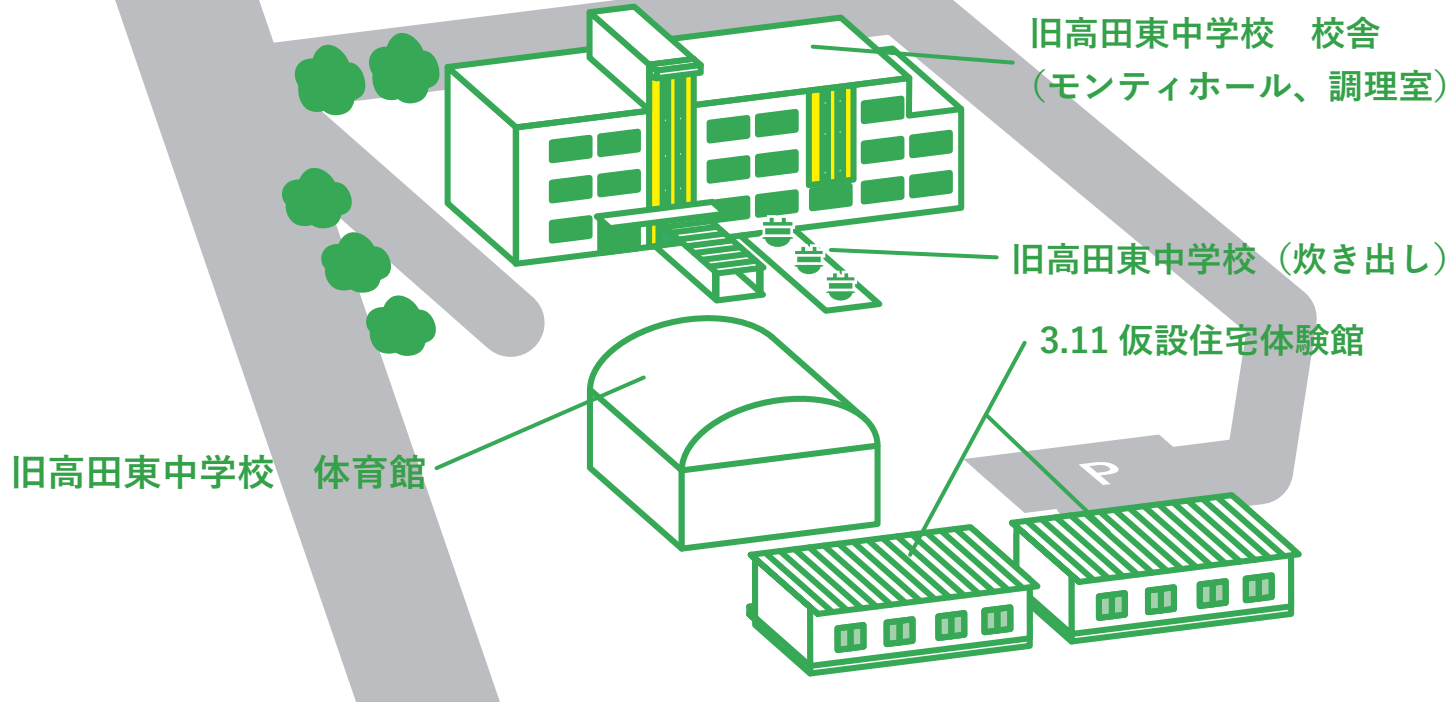
Instagram

防災減災フィールド

～陸前高田の震災と仮設住宅から学ぶ～

Disaster Risk Reduction Field

～ Learning from Rikuzentakata and Temporary Housing ～



お問い合わせ

3.11 仮設住宅体験館

(一般社団法人 トナリノ)

☎ 080-2830-8412 (受付時間 9:00～17:00)

✉ info@311kasetu.com



防災減災フィールド
web サイト



Instagram

被災地・陸前高田で震災直後の避難～避難所生活～仮設住宅での暮らしまでを体験できる“リアル避難体験”プログラムです。

住民が実際に避難した道を歩き、震災当時の状況を疑似体験するほか、避難所での限られたスペースでの寝食や、当時の仮設住宅を再現した建物の見学を通して、災害時の暮らしや命を守る行動について学びます。防災・減災を“自分ごと”として考えるきっかけとなる体験型プログラムです。



A. 避難行動体験コース 所要時間：60 分

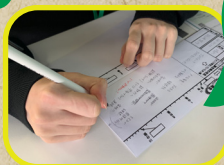
(時間例)

10:00

挨拶と
体験内容の説明



10:05



目黒巻とは？
東京大学の目黒公郎教授が考案した、災害後に起こる困りごとを時間の流れに沿って考え、備えを学ぶ防災シミュレーションです。

目黒巻を体験

10:25

避難経路を歩いて
震災当時の
状況を体験



10:45



仮設住宅の部屋を見学して、当時はどのように生活していたか想像してみよう！

仮設住宅の
見学と振り返り

11:00

料金

1～9名：2,000 円 / 人 (税込)
10～100名：1,500 円 / 人 (税込)

B. 避難所体験コース 所要時間：60 分

(時間例)

10:00

挨拶と
体験内容の説明



10:05



避難所ではどうやって寝るか、限られたスペースでの食事の仕方などを体験してみよう。

在宅避難と
避難所体験

10:35

携帯トイレを
体験



避難時に多くの人が困った「トイレ問題」。近くにトイレがない時に備え、携帯トイレを実際に使って体験してみよう！

10:45



仮設住宅の
見学と振り返り

11:00

料金

1～9名：2,000 円 / 人 (税込)
10～100名：1,500 円 / 人 (税込)

プログラム情報

- 期間：通年（※年末年始を除く）
- 時間：9:00～17:00（受付 16:00 まで）

※夏季の体育館は空調設備がないため、室内が高温になる場合があります。熱中症対策にご協力をお願いいたします。

- 定員：1～100 名
- 会場：3.11 仮設住宅体験館（10 名程度）
旧高田東中学校 モンティホール（40 名程度）
旧高田東中学校 体育館（100 名程度）

プログラム②

炊き出し体験

(時間例)

所要時間：120 分

10:00

炊き出しのやり方や
用具の説明

災害時にも使用した
羽釜を使って
お米を炊きます。

10:30

炊き出しの土台づくり、
火おこしのやり方を
学びます。



炊き出しを体験しながら、
おかずを温める

11:30

実食と振り返り



12:00

※雨天時は決行、荒天時の場合はお弁当に変更となりますので、ご了承ください。

料金

白米
+おかず 2 品セット
：3,000 円 / 人 (税込)

※おかずは季節によって変更になります。



災害時に実践された屋外での炊き出しを一緒に
体験することができます。
調理会場は避難時に当時炊き出しが行われてい
た学校校庭の一角と調理室で行います。

プログラム情報

- 期間：6～12 月
- 時間：9:00～17:00 (受付 16:00 まで)
- 定員：4～100 名
- 会場：旧高田東中学校敷地内

プログラム③

ポリ袋クッキング

(時間例：2 品 (パン + パスタ) の場合)

所要時間：90 分

10:00

ポリ袋で
蒸しパンづくり

ポリ袋に蒸しパンの
材料を入れて混ぜ、袋を
閉じたら、お鍋で生地を
膨らませます！



10:15

ポリ袋で
パスタづくり

蒸しパンを待っている間、
ポリ袋にパスタの材料を
入れて袋を閉じたら、お
鍋で茹でます。



実食と振り返り

11:30

料金

- ①ポリパン :500 円 / 人 (税込)
- ②ポリパスタ :500 円 / 人 (税込)
- ③おかずセット :+1000 円 / 人 (税込)



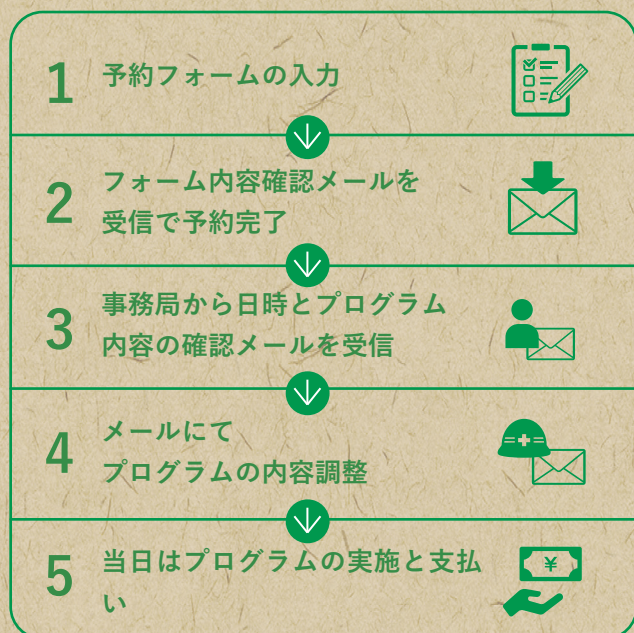
災害時にライフラインが限られた中でも調
理が可能な、ポリ袋を使った調理方法を体
験します。

プログラム情報

- 期間：通年 (※年末年始を除く)
- 時間：9:00～17:00 (受付 16:00 まで)
- 定員：1～40 名
- 会場：3.11 仮設住宅体験館 (5 名程度)
- 旧高田東中学校 調理室 (40 名程度)

※夏季の調理室は空調設備がないため、室内が高温になる場合があります。熱中
症対策にご協力をお願いいたします。

予約の流れ



※キャンセル、日時や内容を変更したい場合は、事務局までメールまたはお電話でご連絡下さい。



プログラム予約



アンケート

キャンセル規定

利用日 4 日前：無し
 利用日 3 日前：お一人につき 30%
 利用日前日：お一人につき 50%
 当日キャンセル：お一人につき 100%

「たかたる。総集編」



東日本大震災前から続いていることなど、陸前高田に様々な形で縁を持った大学生が、“この町をつくりあげてきた出来事を残したい”との想いで制作した冊子です。

1 冊：1,300 円で販売中！

●陸前高田市内冊子販売場所
 ・伊藤文具店（アパッセたかた内）
 ・発酵パーク CAMOCY
 ・コワーキングスペース ヤドカリ
 ・3.11 仮設住宅体験館

●EC サイト
 <STORES>にて販売中
 ※EC サイトでは送料込 1,500 円で販売



アクセス

3.11 仮設住宅体験館

〒029-2206

岩手県陸前高田市米崎町字神田 113 番地 10
 （旧高田東中学校）



3.11 仮設住宅体験館
 web サイト

各方面からの行き方



東北横断自動車道（釜石自動車道）
 宮守 IC から・・・車で 55 分



三陸沿岸道路 陸前高田 IC から
 ……車で 15 分



【JR 東北新幹線をご利用の方】
 一ノ関駅から・・・車で 1 時間 10 分



【飛行機をご利用の方】
 いわて花巻空港から・・・車で 1 時間 20 分



最寄り 脇ノ沢駅から
 ……徒歩で 20 分

施設内設備



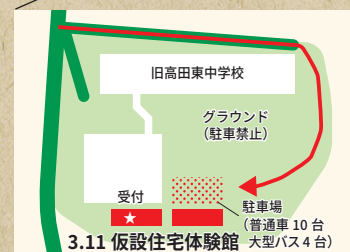
駐車場
 普通車 10 台
 大型バス 4 台



スロープ
 有ります



トイレ
 個室 8 個



車椅子の方もプログラムの体験が可能です。
 お気軽にご相談下さい。



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）に取り組んでいます。



防災減災フィールドの様子



避難所1人あたりのスペース
(2㎡想定)に寝転ぶ体験

震災時に炊き出しをしていた
方と羽釜で炊事を行なう体験



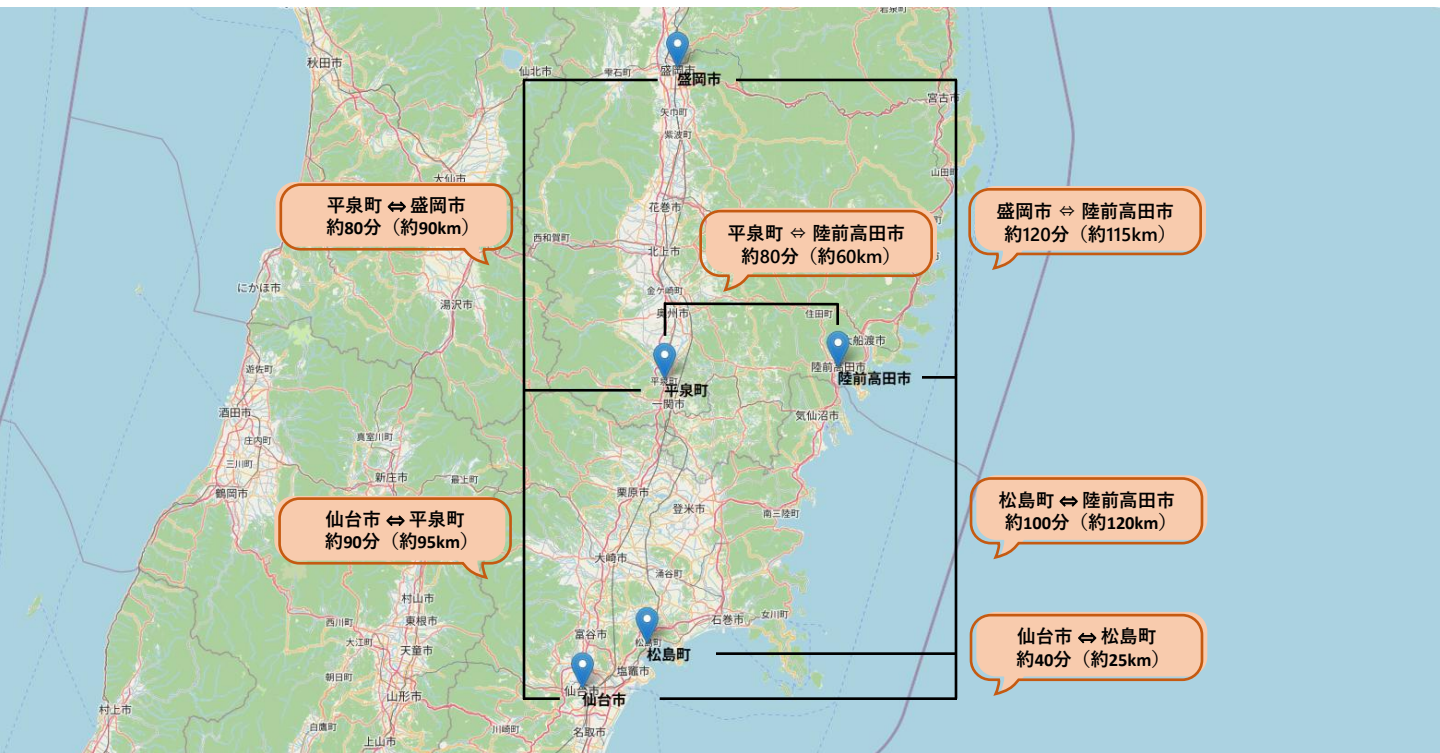
応急仮設住宅の生活を経験され
た方から当時の話を聞く体験

■ 体験メニューの種類		エリア区分		沿岸エリア	陸前高田市
■ 商品素材名称		防災教育体験			
3. 11仮設住宅体験館					
■ 商品素材写真		■ 商品素材紹介			
		避難所で学ぶ震災学習・防災減災プログラム 当館は岩手県陸前高田市にございます「旧高田東中学校」の敷地を活用した震災学習施設です。東日本大震災当時に実際に使用されていた「応急仮設住宅」の見学や宿泊研修、当時を経験した語り部などの震災学習の他、旧学校の校舎や体育館を活用した避難から避難所に関する震災学習、また防災減災に関するプログラムをご提供しております。			
■ 基本情報					
所在地	〒029-2206 岩手県陸前高田市米崎町字神田113-10				
営業形態	完全予約制	休業日	年末年始（12月29日～1月3日）		
敷地情報	仮設住宅2棟8部屋（1部屋受付室）、旧高田東中学校校舎、体育館、グラウンド				
駐車場状況	大型4台、普通車10台	業者コミッション	10%		
問合せ先	窓口：一般社団法人トナリノ（受付時間：9:00-17:00 ※休業日以外） Tel：080-2830-8412 FAX：0192-47-3289 MAIL：info@311kasettsu.com				
■ プログラム情報					
1		名称	語り部（オンライン可）	受入可能人数	最大200名程度
		種別	ガイド	集合・解散場所	現地
		所要時間	90分	予約申込期限	7日前
		内容	東日本大震災の経験談を、仮設住宅、避難所、学校運営等のテーマ毎に専属の地元語り部の方がお話しいたします。		
		会場	●9名まで：仮設住宅 ●10名～40名：校舎内「モンティホール」 ●41名以上：体育館		
	料金（税込）	●1～9名：8,000円 ●10～19名：10,000円 ●20～30名：15,000円 ●30名以上：1名500円			
2		名称	宿泊研修	受入可能人数	最大25名
		種別	体験	集合・解散場所	現地
		所要時間	C1 14時～ / C0 10時	予約申込期限	7日前
		内容	当時の居住環境を再現した大小7部屋に宿泊をして生活環境の追体験ができる研修です。		
		会場	●1DK（定員2名×2） ●2DK（定員4名×1、定員3名×2） ●3K（定員5名×1、定員6名×1）		
	料金（税込）	室料：●1DK：10,000円 ●2DK：13,000円 ●3K：16,000円 【寝具料：1,000円/1名】			
3		名称	避難体験ワークショップ	受入可能人数	35名
		種別	体験型ワークショップ	集合・解散場所	現地
		所要時間	60分	予約申込期限	10日前
		内容	地震津波の際の避難行動について、シミュレーションツール「目黒巻」を活用したワークショップと、避難経路を実際に歩いて体験します。		
		会場	敷地から徒歩5分「脇ノ沢漁港」、仮設住宅、体育館（10名以上）		
	料金（税込）	●10名未満：2,000円/1名 ●10名以上：1,500円/1名			
4		名称	避難所体験	受入可能人数	最大200名程度
		種別	体験	集合・解散場所	現地
		所要時間	120分	予約申込期限	10日前
		内容	実際に避難所となった体育館内で、避難所での出来事の講話と2つの体験、「避難所生活」「携帯トイレ実験」を体験します。		
		会場	体育館、仮設住宅		
	料金（税込）	●10名未満：3,000円/1名 ●10名以上：2,500円/1名			
5		名称	炊出し体験	受入可能人数	120名
		種別	調理体験	集合・解散場所	現地
		所要時間	120分	予約申込期限	15日前（50名以上：30日前）
		内容	避難所で行っていた羽釜と薪でご飯を炊く炊出し体験です。炊きたてご飯と一緒に、防災食のおかずと味噌汁、保存水を提供いたします。		
		会場	体育館、調理室		
	料金（税込）	●50名未満：2,000円/1名 ●50名以上：3,000円/1名			
6		名称	防災ポリ袋クッキング	受入可能人数	120名
		種別	調理体験	集合・解散場所	現地
		所要時間	90分	予約申込期限	15日前（50名以上：30日前）
		内容	ポリ袋に具材を入れて湯煎をする防災クッキングの体験です。蒸しパンと和風パスタの2種類の調理と一緒に、防災食のおかずと味噌汁、保存水を提供いたします。		
		会場	体育館、調理室		
	料金（税込）	●50名未満：2,000円/1名 ●50名以上：3,000円/1名			

○周辺市町から陸前高田市へのアクセス

○周辺市町から陸前高田市へのアクセス

各所要時間や距離は主に東北自動車道や三陸自動車道（三陸沿岸道路）を使用した概算となります。実際に通行される経路や道路状況などにより変動いたしますので、参考情報としてご活用ください。



○陸前高田市 周辺MAP

津波伝承館から各施設へのご移動時間について、車の場合は5～10分ほどです。

※岩手県立野外活動センターは、津波伝承館から車で15分ほどの場所にあります。



周辺施設連絡先・避難マップ

市外局番(0192)

	名 称	住 所	電話番号
役 所	陸前高田市役所	陸前高田市高田市高田町下和野100	54-2111
消 防	陸前高田市消防本部	陸前高田市高田町栃ヶ沢210-2	54-2119
警 察	大船渡警察署 高田幹部交番	陸前高田市高田町栃ヶ沢205	55-2022
	大船渡警察署	大船渡市盛町下館下14-2	26-0110
観 光	陸前高田市観光物産協会	陸前高田市高田町字並杉300-2	54-5011
病 院	岩手県立高田病院	陸前高田市高田町太田56	54-3221
	岩手県立大船渡病院 救命救急センターあり(24時間対応)	大船渡市大船渡町山馬越10-1	26-1111

市の避難マニュアル・避難マップ一覧は下記URLよりご確認ください。

(QRコードからも確認ができます)

① 陸前高田市『避難マニュアル』

https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/bosai_anzen/bosai_shobo/bosai/3/3903.html

② 陸前高田市『指定緊急避難場所・指定避難所等の一覧』

https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/bosai_anzen/bosai_shobo/bosai/3/3932.html



QRの先では、下記の情報を見ることができます。

陸前高田市津波防災マップ

土砂災害・洪水ハザードマップ

指定緊急避難場所 ⇒ 「いったん逃げる場所」

災害による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全確保を目的として、命を守るために緊急的に避難する場所のことを指します。

指定避難所一覧 ⇒ 「避難生活ができる場所」

災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、また災害により自宅が被災し戻れなくなった場合、一時的に滞在することを目的とした施設のことを指します。

団体連絡先一覧

各プログラムに関する詳細や資料請求については
下記連絡先へお願いいたします。

- ・ **一般社団法人陸前高田市観光物産協会**（担当：小林）

電話：0192-54-5011

Mail：rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp

- ・ **東日本大震災津波伝承館**（担当：佐々木）

電話：0192-47-4455

Mail：AJ0007@pref.iwate.jp

- ・ **陸前高田ワタミオーガニックランド**（担当：田端）

電話：0192-53-2610

Mail：info-rt-organic@watami.net

- ・ **岩手県立野外活動センター**（担当：大瀧・北條）

電話：0192-22-9800

Mail：info@iwate-yagai.com

- ・ **(認定)特定非営利活動法人SET**（担当：吉原）

電話：0192-47-5747

Mail：takataminpaku@nposet.com

- ・ **陸前高田市立博物館**（担当：浅川）

電話：0192-54-4224

- ・ **一般社団法人トナリノ**（担当：吉田）

電話：090-6568-6412

Mail：tonarino.bosai@tonarino.org

高田松原津波復興祈念公園



うごくセタまつり



けんかセタまつり



広田湾の牡蠣



ほんまる茜市



広田湾のウニ



高田松原海水浴場



旧吉田家住宅主屋

学びだけではない「また来たい」と思える教育旅行を！
陸前高田で皆さまをお待ちしております。

陸前高田で学ぶ旅－教育旅行ガイドブック－（令和8年6月改訂）

製作・発行	一般社団法人陸前高田市観光物産協会
住 所	〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字並杉300-2 まちの縁側
電 話	0192-54-5011
メー ル	rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp



観光物産協会ホームページ
「高田旅ナビ」